

Eutypa lata に関する
病害虫リスクアナリシス報告書

令和4年12月1日 改訂

農林水産省横浜植物防疫所

主な改訂履歴及び内容

平成 28 (2016) 年 3 月 25 日 作成

令和 2 (2020) 年 3 月 25 日 宿主植物の追加 (サリックス・マクロナタ)

令和 3 (2021) 年 2 月 3 日 宿主植物の追加 (ザクロ)

令和 4 (2022) 年 12 月 1 日 発生国の追加 (チリ)

目次

はじめに.....	1
I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害植物）	1
1. 学名及び分類.....	1
2. 地理的分布	2
3. 宿主植物及び日本国内での分布	2
4. 感染部位及びその症状	3
5. 移動分散方法.....	4
6. 生態.....	4
7. 媒介性又は被媒介性.....	4
8. 被害の程度	4
9. 防除.....	5
10. 診断、検出及び同定	5
11. 日本における輸入検疫措置	5
12. 諸外国における輸入検疫措置	5
II 病害虫リスクアナリシスの結果.....	6
第1 開始（ステージ1）	6
1. 開始.....	6
2. 対象となる有害動植物.....	6
3. 対象となる経路.....	6
4. 対象となる地域.....	6
5. 開始の結論.....	6
第2 病害虫リスク評価（ステージ2）	7
1. 有害動植物の類別	7
2. 農業生産等への影響の評価.....	7
3. 入り込みの可能性の評価.....	9
4. <i>Eutypa lata</i> の病害虫リスク評価の結論	11
第3 病害虫リスク管理（ステージ3）	12
1. <i>Eutypa lata</i> に対するリスク管理措置の選択肢の検討	12
2. 経路ごとの <i>Eutypa lata</i> に対するリスク管理措置の選択肢の検討	15
3. <i>Eutypa lata</i> の病害虫リスク管理の結論	16
別紙1 <i>Eutypa lata</i> の発生国等の根拠	21
別紙2 <i>Eutypa lata</i> の宿主植物の根拠	23
別紙3 <i>Eutypa lata</i> の宿主植物に関連する経路の年間輸入検査量（貨物、郵便物及び携帯品） ..	31
引用文献.....	54

はじめに

Eutypa lata は、ブドウやアンズ等に枝枯れや立ち枯れを引き起こす糸状菌である。本菌の発生により、アメリカ合衆国カリフォルニア州ではブドウ、アンズ及びサクランボが、フランス及びイタリアではブドウが、オーストラリア及びトルコではアンズが影響を受けており、アメリカ合衆国ミシガン州のブドウでは、重度に発病した園地で 80%、中程度の園地で 35%の収量の減少が報告されている (CABI, 2013)。

日本においては、本菌は植物防疫法施行規則植物防疫法施行規則 (農林省, 1950) 別表 1 に規定されている検疫有害植物であり、同施行規則別表 1 の 2 に規定されている国又は地域からの該当する宿主植物の生植物 (栽培の用に供するもの) の輸入については、輸出国での栽培地検査が必要とされている。

今般、本菌の発生国に関する新たな情報が得られたことから、改めて本菌に対するリスク評価を実施し、現行の検疫措置の有効性を評価するため、病害虫リスクアナリシスを実施した。

I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報 (有害植物)

1. 学名及び分類

(1) 学名 (Index Fungorum, 2022)

Eutypa lata (Pers.) Tul. & C. Tul.

(2) 英名、和名等 (CABI, 2013)

Eutypa dieback

(3) 分類 (Index Fungorum, 2022)

種類 : 菌類

科 : Diatrypaceae

属 : *Eutypa*

(4) シノニム (CABI, 2013; Index Fungorum, 2022)

Cryptosphaeria crepiniana Sacc. & Roum.

Cryptosphaeria myriocarpa (Nitschke) Sacc.

Cytosporina lata Höhn.

Cytosporina ribis Magnus

Cytosporina rubescens Fr.

Diatrype lata (Pers.) Fr

Diatrype macrothecia Speg.

Diatrype milliaria (Fr.) Fr.

Eutypa ambigua J. Kunze ex Sacc.

Eutypa armeniaca Hansf. & M. V. Carter

Eutypa fraxini Hansf. & M. V. Carter

Eutypa lata var. *ribis* Barthelet

Eutypa lata var. *rimulosa* Sacc.

Eutypa mauroides (Nitschke) Sacc.

Eutypa milliaria (Fr.) Sacc.

Eutypa rhodi (Nitschke) Fuckel

Libertella blepharis A. L. Sm.

Phomopsis ribis (Magnus) Grove ex E. K. Cash
Sphaeria fuliginosa Sowerby
Sphaeria lata Pers.
Sphaeria milliaria Fr.
Sphaeria papillata Hoffm.
Stromatosphaeria lata (Pers.) Grev.
Valsa fraxini Nitschke
Valsa lata (Pers.) Nitschke
Valsa mauroides Nitschke
Valsa myriocarpa Nitschke
Valsa prunastri (Pers.) Fr.
Valsa rhodi Nitschke

2. 地理的分布

(1) 国又は地域（詳細は別紙1参照。下線部は令和4（2022）年12月1日改訂時に追加。）

アジア：インド、パキスタン

中東：イスラエル、トルコ、レバノン

欧州：アイルランド、イタリア、ウクライナ、英国、オーストリア、キプロス、ギリシャ、
スイス、スペイン、スロバキア、セルビア、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フラン
ス、ブルガリア、ポルトガル、モルドバ、ルーマニア

アフリカ：アルジェリア、南アフリカ共和国、リビア

北米：アメリカ合衆国、カナダ

中南米：チリ、ブラジル、ベネズエラ、メキシコ

大洋州：オーストラリア、ニュージーランド

(2) 生物地理区

本菌は、旧北区、エチオピア区、新北区、東洋区、新熱帯区、オーストラリア区及び南極区
の計7区に分布する。

3. 宿主植物及び日本国内での分布

(1) 宿主植物（詳細は別紙2参照）

ウコギ科：セイヨウキヅタ (*Hedera helix*)

ウルシ科：アカツユ (*Schinus terebinthifolius*)、コショウボク (*S. molle*)、テレピンノキ
(*Pistacia terebinthus*)、ピスタキア・レンティスクス (*P. lentiscus*)、ピスタシオノキ
(*P. vera*)

カエデ科：コブカエデ (*Acer campestre*)、ヒロハカエデ (*A. macrophyllum*)

カキノキ科：カキ (*Diospyros kaki*)

カバノキ科：セイヨウシデ (*Carpinus betulus*)、セイヨウハシバミ (*Corylus avellana*)

キョウチクトウ科：セイヨウキョウチクトウ (*Nerium oleander*)

ギョリュウ科：ギョリュウ属 (*Tamarix*)

クマツヅラ科：グメリナ・ライヒハルディ (*Gmelina leichhardtii*)、ランタナ (*Lantana
camara*)

クルミ科：ペルシャグルミ (*Juglans regia*)

クロウメモドキ科：クロウメモドキ属 (*Rhamnus*)、ケアノツス属 (*Ceanothus*)

クワ科：イチジク (*Ficus carica*)
 ザクロ科：ザクロ (*Punica granatum*)
 シナノキ科：コバノシナノキ (*Tilia cordata*)、ナツボダイジュ (*T. platyphyllos*)
 スイカズラ科：シンフォリカルポス・オルビクラツス (*Symphoricarpos orbiculatus*)、セイ
 ヨウニワトコ (*Sambucus nigra*)、ロニケラ・アルピゲナ (*Lonicera alpigena*)、ロニ
 ケラ・クシロステウム (*L. xylosteum*)、ガマズミ属 (*Viburnum*)
 スズカケノキ科：モミジバスズカケノキ (*Platanus acerifolia*)
 ツツジ科：アルクトスタフィロス・スタンフォーディアナ (*Arctostaphylos stanfordiana*)
 トチノキ科：アエスクルス・カリフォルニカ (*Aesculus californica*)
 トベラ科：シマトベラ (*Pittosporum undulatum*)
 ニレ科：セイヨウハルニレ (*Ulmus glabra*(=*U. scabra*))
 バラ科：クサボケ (*Chaenomeles japonica*(=*Choenomeles japonica*))、セイヨウナシ
 (*Pyrus communis*)、ソルブス・アリア (*Sorbus aria*)、ビワ (*Eriobotrya japonica*)、
 マルメロ (*Cydonia oblonga*)、ヨーロッパナナカマド (*S. aucuparia*)、サクラ属
 (*Prunus*)、サンザシ属 (*Crataegus*)、シャリントウ属 (*Cotoneaster*)、バラ属
 (*Rosa*)、リンゴ属 (*Malus*)
 ブドウ科：キッスス・ヒボグラウカ (*Cissus hypoglauca*)、ブドウ属 (*Vitis*)
 ブナ科：ヨーロッパブナ (*Fagus sylvatica*)、コナラ属 (*Quercus*)
 マメ科：フサアカシア (*Acacia dealbata*)、ヒトツバエニシダ属 (*Genista*)
 ミカン科：ショウジア・テルナタ (*Choisya ternata*)、レモン (*Citrus limon*)
 ミズキ科：ミズキ属 (*Cornus*)
 メギ科：ベルベリス・ダーウィニー (*Berberis darwinii*)
 モクセイ科：ウンナンオウバイ (*Jasminum mesnyi*)、オリーブ (*Olea europaea*)、セイヨ
 ウトネリコ (*Fraxinus excelsior*)、ムラサキハシドイ (*Syringa vulgaris*)、ヨウシュイボ
 タ (*Ligustrum vulgare*)
 ヤナギ科：サリックス・カプレア (*Salix caprea*)、サリックス・マクロナタ (*S.*
mucronata)、サリックス・ラシオレピス (*S. lasiolepis*)、セイヨウハコヤナギ
 (*Populus nigra* var. *italica* (= *P. italica*))
 ユキノシタ科：スグリ属 (*Ribes*)

(2) 日本国内における宿主植物の分布及び栽培状況

本菌の宿主植物であるブドウ属は 47 都道府県で栽培されている。

4. 感染部位及びその症状

本菌は、葉、枝、生きている又は枯死したつるや樹木に感染し、樹内で長く生存する。宿主植物から分離されたいずれの菌株も、ブドウやアンズに対し病原性を持つ (CABI, 2013)。

ブドウでは、感染後 2～3 年間は症状が現れず、6 年以上症状が現れない場合もある。症状は、樹齢 10 年以上のブドウのつるで広く発生し、初期症状は、芽の発育不全、春に健康な芽が 20～40cm になったときに現れる。感染した芽は通常の半分の長さにもならず、小さなカップ状の葉となる。師部や木部組織にかいようができ、かいよう症状の周りに条斑や斑点を示す。かいよう症状はやがて幹に達し、つる全体が立ち枯れを起こす (CABI, 2013; Rolshausen et al., 2007)。ブドウでは果実に症状は現れないが、感染した枝からは果粒の大きさが不揃いな房が生じることがある (Hilton and Molloy, 2012)。

アンズでは、ブドウより早く、約 18 箇月で症状が現れる。夏季に葉の萎縮、枯れが発生し、

その後枝枯れが生じ、枯れた枝の基部にかいようが生じる。かいようからはガム状の物質が生成される（CABI, 2013）。

枯死した樹に形成された子のう殻から飛散した子のう胞子によって伝染する。湿潤環境下では子座を伴う子のう殻から子のう胞子の放出が誘発される。放出は気温 10～35℃で起こる。子座は数年間生存し、毎年新しい子のう殻を形成する。子のう胞子は長距離飛散が可能である。休眠期のせん定作業による傷も感染の原因になる。本菌は多年生樹木内でしか増殖せず、徐々に植物組織に定着していく。症状は最終的に感染枝から伸びた新芽に現れる。感染植物の組織又は植物全体が枯死するまで症状が進展する。枯死した樹上では、子座が形成され、子のう殻を形成するが、それには感染植物の組織が死んでから 2 年以上かかる。未発達の子座内には分生子果が形成されるが、主要な分散手段とは考えられていない。子のう胞子は風媒伝搬し、休眠期のせん定作業による傷口から胞子が感染するが、感染には水が必要となる（CABI, 2013）。

5. 移動分散方法

（1）自然分散

本菌の子のう胞子は風媒伝搬し、ベクター及び種子による伝搬は知られていない。自然分散には子のう胞子が重要な役割を果たしていると考えられ、胞子が 50km 以上の長距離飛散することによって、乾燥地域でも本菌が発生しているものと考えられている。なお、オーストラリアやアメリカ合衆国カリフォルニア州の半乾燥地域では、本菌が発生するにもかかわらず、子のう殻がほとんど発見されていない（CABI, 2013）。

（2）人為分散

情報なし。

6. 生態

（1）中間宿主及びその必要性

情報なし。

（2）伝染環

本菌の子のう殻から飛散した子のう胞子によって伝染する。枯死した樹上では、子座及び子のう殻が形成されるが、この過程は組織が枯死してから 2 年以上かかる。子座は数年間生き残り、毎年新しい子のう殻を形成するが、症状は感染してから 18 箇月から 2 年以上発現しない（CABI, 2013）。

（3）植物残さ中での生存

本菌は、枯死した樹上で、子座及び子のう殻を形成する（CABI, 2013）。

（4）耐久生存態

情報なし。

7. 媒介性又は被媒介性

本菌は、ベクターによる伝搬は知られていない（CABI, 2013）。

8. 被害の程度

本菌が発生することにより、殺菌剤散布及び衛生管理が必要になり、せん定作業等の防除経費

の増加並びに感染植物の伐採による生産量の低下が生じる。世界的には、ブドウ、次にアンズの生産に影響を及ぼしている。アメリカ合衆国カリフォルニア州ではブドウ、アンズ及びサクランボが、フランス及びイタリアではブドウが、オーストラリア及びトルコではアンズが影響を受けている。アメリカ合衆国ミシガン州のブドウでは、重度に発病した園地で80%、中程度の園地で35%の収量の減少が報告されている（CABI, 2013）。

9. 防除

本菌による広範囲な被害を防ぐために積極的な慣行防除が必要である。有効な総合的防除として、感染植物や枝の除去等の衛生管理の実施、適切なせん定作業、せん定による傷の殺菌剤保護がある（CABI, 2013; UC IPM, 2014）。

10. 診断、検出及び同定

（1）診断

- ア かいよう病斑及びその部分からの樹液の漏出
- イ せん定部を中心とした木部の黒褐色変とそれに伴う枝枯れ
- ウ 枝上の黒色の分生子殻・子座（孢子角を噴出することもある）
- エ 古い枯枝の樹皮下に形成された子のう殻・子座

ア又はイの症状がある場合は、その表面にウの黒色の分生子殻・子座があるか、また古い枯枝については、樹皮を剥ぎエの黒色の子のう殻があるかを検査する。黒色の分生子殻・子座又は子のう殻・子座が認められた場合は、実体・生物顕微鏡による検鏡を行う（CABI, 2021）。

（2）検出及び同定

- ・ 血清学的診断法：ELISA 法（Octave *et al.*, 2009）
※ ELISA キットは市販されていない。
- ・ 遺伝子学的診断法：PCR 法（Lecomte *et al.*, 2000; Rolshausen *et al.*, 2004; Schwappach and Grimm, 2006）

11. 日本における輸入検疫措置

本菌は、植物防疫法施行規則（農林省, 1950）別表1の2に規定されている検疫有害植物であり、同施行規則別表1の2に規定されている国又は地域からの該当する宿主植物の生植物（種子及び果実を除く。）であって栽培の用に供するものについては、生育期中に栽培地検査を行って本菌の発生がないことを確認し、その旨を検査証明書に追記することを要求している。

12. 諸外国における輸入検疫措置

（1）インド

本菌は隔離栽培中の検査の対象であり、指定された国から輸入された対象植物については、輸入後の隔離栽培中の検査を行っている（DAC & FW, 2022）。

（2）その他

中華人民共和国（中華人民共和国, 2022）、台湾（BAPHIQ, 2022）及びイスラエル（PPIS Israel, 2009）は検疫有害動植物リストに掲載しているが、具体的な検疫措置は講じていない。

Ⅱ 病害虫リスクアナリシスの結果

第1 開始（ステージ1）

1. 開始

Eutypa lata に対するリスク評価を行い、現行の検疫措置の有効性を評価するため、病害虫リスクアナリシスを実施する。

2. 対象となる有害動植物

Eutypa lata を対象とする。

3. 対象となる経路

リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報の「2. 地理的分布」に示す「国又は地域」からの「3. 宿主植物及び日本国内での分布」に示す「宿主植物」であって、「4. 感染部位及びその症状」に示す「感染部位」を含む植物を対象とする。

4. 対象となる地域

日本全域を対象とする。

5. 開始の結論

本菌を開始点とし、その発生地域から輸入される植物を経路とした日本全域を対象とする病害虫リスクアナリシスを開始する。

第2 病害虫リスク評価（ステージ2）

1. 有害動植物の類別

ステージ1で特定された有害動植物について、国内における発生及び公的防除の有無、定着及びまん延の可能性並びに経済的影響を及ぼす可能性について調査し、検疫有害動植物の定義内の基準を満たしているかどうかを検討する。なお、検疫有害動植物の要件を満たしていない場合は、それが判明した時点で評価を中止し病害虫のリスクは「無視できる」とする。

（1）有害度植物の日本での発生の有無及び公的防除の有無等

Eutypa lata は国内未発生である。

（2）定着及びまん延の可能性の評価

本菌の宿主植物であるブドウ属は、47 都道府県で栽培されていることから、国内に定着及びまん延する可能性があると判断する。

（3）経済的影響を及ぼす可能性

本菌が発生しているアメリカ合衆国ミシガン州のブドウ園地では、重度に発病した園地で80%、中程度の園地で35%の収量の減少が報告されている。

したがって、現在、本菌は国内未発生であるが、もし、本菌が国内に入り込み、定着及びまん延した場合、経済的影響を及ぼす可能性がある。

（4）評価にあたっての不確実性

特になし。

（5）有害動植物の類別の結論

本菌は国内未発生であるが、宿主植物であるブドウ属は47 都道府県で栽培されていることから、本菌が国内に定着及びまん延する可能性がある。また本菌の発生国であるアメリカ合衆国では、ブドウ園地で重度に発病した場合、80%の減収であったとの被害報告がある。そのため、国内においても経済的影響を及ぼす可能性は否定できない。

したがって、植物検疫措置に関する国際基準（以下、「ISPM」という。） 11「検疫有害動植物に関する病害虫リスクアナリシス」に規定された検疫有害動植物の要件を満たすことから、本菌に対するリスクアナリシスを実施するため、引き続き「2. 農業生産等への影響の評価」で評価を行う。

2. 農業生産等への影響の評価

評価項目	評価における判断の根拠等	得点
（1）定着の可能性の評価		
ア リスクアナリシスを実施する地域における潜在的検疫有害動植物の生存の可能性		
（ア）潜在的検疫有害動植物の生存の可能性	植物残さ中で長期間生存可能である。	
（イ）リスクアナリシスを実施する地域における中間宿主の利用可能性	中間宿主は必須でない。	評価しない
（ウ）潜在的検疫有害動植物の繁殖戦略	有害植物のため。	5 点

イ リスクアナリシスを実施する地域における寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性		
(ア) 寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性	宿主植物であるブドウ属は47都道府県に分布している。	5点
(イ) 潜在的検疫有害動植物の寄主又は宿主範囲の広さ	ウコギ科、ウルシ科、カエデ科、カキノキ科、カバノキ科、キョウチクトウ科、ギョリュウ科、クマツヅラ科、クルミ科、クロウメモドキ科、クワ科、ザクロ科、シナノキ科、スイカズラ科、スズカケノキ科、ツツジ科、トチノキ科、トベラ科、ニレ科、バラ科、ブドウ科、ブナ科、マメ科、ミカン科、ミズキ科、メギ科、モクセイ科、ヤナギ科、ユキノシタ科の計29科に感染	
(ウ) 有害動植物の侵入歴	旧北区、エチオピア区、新北区、東洋区、新熱帯区、オーストラリア区及び南極区の7区に分布	5点
ウ 定着の可能性の評価結果		5点
(2) まん延の可能性の評価		
ア 自然分散(自然条件における潜在的検疫有害動植物の分散)		
(ア) ベクター以外による伝搬		
a 移動距離	子のう胞子により風媒伝搬する(50km以上の長距離を伝搬することが知られている)。	5点
b 伝染環数	子座は数年間生き残り、毎年新しい子のう殻を形成することから、伝染環は1年に1回と判断した。	3点
(イ) ベクターによる伝搬		
a ベクターの移動距離	ベクターによる分散は知られていない。	一点
b ベクターの伝搬様式	ベクターによる分散は知られていない。	一点
イ 人為分散		
(ア) 農作物を介した分散	宿主植物であるブドウ属は47都道府県で栽培されている。	5点
(イ) 非農作物を介した分散	非農作物を介した分散は知られていない。	一点
ウ まん延の可能性の評価結果		4. 3点
(3) 経済的重要性の評価		
ア 直接的影響		
(ア) 影響を受ける農作物又は森林資源	ブドウ、サクランボ、モモ、スモモ、リンゴ等の農産物産出額：4,119億円 (参考：コナラ属等の森林資源が影響を受ける(5点)。)	4点
(イ) 生産への影響	発生国では高い頻度で枯死にいたる例はないが、品質低下、数年間の減収を含む明確	3点

	な経済的被害が報告されている（流通過程を含め商品部位以外への被害がある）。アメリカのブドウ栽培では、本菌による枝枯れの結果、収量が半分以下となっている。 （参考：森林資源への被害についての報告はない（2点）。）	
（ウ）防除の困難さ		
（エ）直接的影響の評価結果		3点
イ 間接的影響		
（ア）農作物の政策上の重要性	ブドウは「農業保険法」及び「同法施行令」、「果樹農業振興特別措置法施行令」に規定する主要農作物に該当する。	1点
（イ）輸出への影響	該当しない。	評価しない
ウ 経済的重要性の評価結果		4点
評価における不確実性 特になし。		
農業生産等への影響評価の結論 （病虫害固有のリスク）	高い	86.7点

3. 入り込みの可能性の評価

項目	評価における判断の根拠等		
（1）感染部位	葉、枝、生きている又は枯死したつるや幹		
（2）日本に入り込む可能性のある経路	入り込む可能性のある経路は、〔栽植用植物〕、〔消費生植物〕、〔消費木材〕及び〔消費乾燥植物類〕が経路として考えられる。		
	経路・用途	部位	経路となる可能性
	ア 栽植用植物	葉、茎、枝、幹	○
	イ 消費生植物	葉、茎、枝、幹	○
	ウ 消費木材	幹	○
	エ 消費乾燥植物類	つる、枝、幹	○
（3）宿主植物の輸入検査量	別紙3参照		

（4）入り込みの可能性の評価

ア 栽植用植物

評価項目	評価における判断の根拠等	得点
（ア）加工処理に耐えて生き残る可能性	原産地で本菌の生存率に影響を与える加工処理等は実施されていない。	5点
（イ）潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ	有害植物である。	5点

(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性	栽植用植物は、直接栽培施設、ほ場等へ持ち込まれる。	5 点
(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性	栽植用植物は、栽植用として利用されることで入り込みが完了する。	5 点
評価における不確実性 特になし。		
栽植用植物の入り込みの可能性の評価の結論	高い	5 点

イ 消費生植物

評価項目	評価における判断の根拠等	得点
(ア) 加工処理に耐えて生き残る可能性	原産地で本菌の生存率に影響を与える加工処理等は実施されていない。	5 点
(イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ	有害植物である。	5 点
(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性	宿主植物のブドウ属は 47 都道府県で栽培されている。	4 点
(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性	子のう胞子により風媒伝搬する。	2 点
評価における不確実性 消費生植物のうち、切り枝及び切り花を経路とした場合、本来の用途ではない栽培目的で使用される可能性があるため、評価には不確実性を伴う。		
消費生植物の入り込みの可能性の評価の結論	中程度	4 点

ウ 消費木材

評価項目	評価における判断の根拠等	得点
(ア) 加工処理に耐えて生き残る可能性	原産地で本菌の生存率に影響を与える加工処理等は実施されていない。	5 点
(イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ	有害植物である。	5 点
(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性	宿主植物のブドウ属は 47 都道府県で栽培されている。	4 点
(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性	子のう胞子により風媒伝搬する。	2 点
評価における不確実性 特になし。		
消費木材の入り込みの可能性の評価の結論	中程度	4 点

エ 消費用乾燥植物類

評価項目	評価における判断の根拠等	得点
(ア) 加工処理に耐えて生き残る可能性	原産地で本菌の生存率に影響を与える加工処理等は実施されていない。	5 点
(イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ	有害植物である。	5 点
(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性	宿主植物のブドウ属は 47 都道府県で栽培されている。	4 点
(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性	子のう胞子により風媒伝搬する。	2 点
評価における不確実性 特になし。		
消費用乾燥植物類の入り込みの可能性の評価の結論	中程度	4 点

4. *Eutypa lata* の病害虫リスク評価の結論

本菌は検疫有害植物であり、栽植用植物、消費用生植物、消費用木材及び消費用乾燥植物類を経路として入り込む可能性があるとして評価した。

農業生産等への影響評価の結論 (病害虫固有のリスク)	入り込みの可能性の評価		病害虫リスク評価の結論
	用途	結論	
高い	ア 栽植用植物	高い	高い
	イ 消費用生植物	中程度	中程度（農業生産等への影響が高い）
	ウ 消費用木材	中程度	中程度（農業生産等への影響が高い）
	エ 消費用乾燥植物類	中程度	中程度（農業生産等への影響が高い）

第3 病害虫リスク管理（ステージ3）

病害虫リスク評価の結果、*Eutypa lata* はリスク管理措置が必要な検疫有害植物であると判断されたことから、ステージ3において、発生国からの宿主植物の輸入に伴う本菌の入り込みのリスクを低減するための適切な管理措置について検討する。

1. *Eutypa lata* に対するリスク管理措置の選択肢の検討

選択肢	方法	有効性及び実行可能性の検討	実施主体 (時期)	有効性	実行 可能性
①病害虫無発生地域、生産地又は生産用地の設定及び維持	ISPM 4 又は 10 に基づき設定及び維持する。	〔有効性〕 ● ISPM に基づき輸出国植物防疫機関が設定、管理及び維持する病害虫無発生地域、生産地又は生産用地であれば、有効である。 〔実行可能性〕 ● 輸出国において適切に管理されることが必要であるが、実行可能と考えられる。	輸出国 (輸出前)	○	○
②システムズアプローチ	ISPM 14 に基づき実施する。	複数の管理措置の組合せであるシステムズアプローチの有効性及び実行可能性については、具体的に提案される管理措置の内容を検討する必要がある。	輸出国 (輸出前)	—	—
③栽培地検査	栽培期間中に生育場所において植物の症状等を観察する。	〔有効性〕 ● 栽培期間中に症状を明瞭に現す場合は有効である。 ● 本菌は、せん定後の傷にかいよう斑を生じ、木質部の褐変、腐朽及び導管部の褐変を引き起こし、これらの被害部から出るシュートは萎縮、黄化する。このように本菌は、特徴的な症状を現すことから栽培期間中の検査は有効である。 ● ブドウについては、感染後2～3年間は症状を現さない場合もあるため、栽培期間中の検査の効果は限定的である。 〔実行可能性〕 ● 輸出国において適切な検査が行われる必要があるが、実行	輸出国 (栽培中)	○ (ブドウ属栽植用植物▽)	○

		可能と考えられる。			
④精密検定	血清学的診断法、遺伝子診断法等による精密検定を実施する。	〔有効性〕 ● 遺伝子学的診断法により同定が可能との報告がある。 ● ただし、症状が明瞭な場合は有効であるが、初期症状は微小であり見逃す可能性がある。したがって、効果は限定的である。 〔実行可能性〕 ● 輸出入国において検定施設を有するとともに、特異的なプライマー及びポジティブコントロールが必要であるが、実行可能と考えられる。	輸出国 (輸出前) 輸入国 (輸入時)	▽	○
⑤検査証明書への追記	輸出国での目視検査の結果、本菌に感染していないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。	〔有効性〕 ● 輸出検査時に幹、枝、葉に明瞭な症状を形成している場合は、識別できると判断される。 ● しかし、初期症状は微小であり見逃す可能性がある。したがって、効果は限定的である。 〔実行可能性〕 ● 輸出国において適切な検査が行われる必要があるが、実行可能と考えられる。	輸出国 (輸出時)	▽	○
⑥輸出入検査（目視検査）	植物の症状等を確認する。	〔有効性〕 ● 輸出入検査時に茎、枝、葉に明瞭な症状を形成している場合は、識別できると判断される。 ● しかし、初期症状は微小であり見逃す可能性がある。したがって、効果は限定的である。 〔実行可能性〕 ● 輸出入国において通常実施されている検査であり、実行可能である。	輸出国 (輸出時) 輸入国 (輸入時)	▽	○

⑦ 隔離栽培中の検査	輸入後、国内の施設において一定期間栽培し、症状の確認や精密検定を実施する。	[有効性] ● 症状発現まで時間を要する場合でも、栽培施設で適切に管理することにより検査が可能である。 ● 隔離期間中に症状を診断し、精密検定等により検出が可能である。 ● 本菌の自然分散の方法は孢子が風媒伝搬することからほ場内にまん延する可能性があるが、以下の点から有効である。 - 孢子形成のための子座形成は感染植物の組織が死んでから2年以上かかるため、隔離栽培中に症状を診断し、本菌である事を確認した場合には適切に廃棄することによりほ場内での本菌のまん延を防ぐことができる。 ● ブドウについては、感染後2～3年間は症状を現さない場合もあるため、隔離栽培期間中の検査の効果は限定的である。 [実行可能性] ● 多年生植物は、隔離栽培中の検査が実行可能であるが、隔離栽培ができる施設に限られており、検査できる数量等が制限されることから、限定条件下で実行可能である。そのため、隔離栽培運用基準（農林省, 1968）に規定されていない宿主植物を新たに隔離栽培する場合は、隔離施設の整備及び栽培管理のための条件を整える必要があることから、限定条件下で実行可能である。 ● クルミ属、サクラ属、スグリ	輸入国 (輸入後)	○ (ブドウ属栽植用植物▽)	▽ (クルミ属、サクラ属、スグリ属、ナシ属、ブドウ属、ミカン属及びリンゴ属の栽植用植物○)
------------	---------------------------------------	---	--------------	-------------------	--

		属、ナシ属、ブドウ属、ミカン属及びリンゴ属の栽植用植物は、同運用基準で対象としているため、実行可能である。			
--	--	---	--	--	--

- 有効性 ○：効果が高い
▽：限定条件下で効果がある
×：効果なし
－：検討しない
- 実行可能性 ○：実行可能
▽：限定条件下で実行可能
×：実行困難
－：検討しない

2. 経路ごとの *Eutypa lata* に対するリスク管理措置の選択肢の検討

(1) 栽植用植物

ア 検討結果

病害虫無発生地域、生産地又は生産用地の設定及び維持（選択肢①）は、本菌の入り込みのリスクに対して有効な管理措置である。しかしながら、病害虫無発生地域等の設定及び維持は、宿主植物の栽培環境、病害虫管理等を含む各種要因に影響を受けるため、個別案件ごとに具体的な内容を輸出国植物防疫機関が示し、日本がその許諾を判断する必要がある。

栽培地検査（選択肢③）は、本菌による症状として、せん定後の傷にかいよう斑を生じ、木質部の褐変、腐朽及び導管部の褐変を引き起こし、これらの被害部から出るシュートは萎縮、黄化するとの報告があることから、有効な管理措置である。

なお、ブドウについては、感染後2～3年間は症状を現さない場合もあるため、栽培地検査（選択肢③）又は隔離栽培中の検査（選択肢⑦）の単独の措置では有効でない可能性がある。しかしながら、ブドウは挿し木で苗を作るため、1年以上経過した苗を出荷・輸出すると考えられる。このため、栽培地検査で本菌による症状が現れないとしても、隔離栽培中の検査と組み合わせることにより検査期間中に症状を現す可能性が高くなることから、栽培地検査と隔離栽培中の検査を併用することが有効な管理措置であると考えられる。

イ リスク管理措置の特定（ブドウ属植物を除く。）

栽植用植物（ブドウ属植物を除く。）に対する管理措置として、本菌の入り込みのリスクを低減させることが可能であり、かつ必要以上に貿易制限的でないことを考慮し、以下を特定した。

- 輸出国（栽培中）において、生育期中に栽培地検査を行い、本菌の発生がないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。

ウ リスク管理措置の特定（ブドウ属植物）

栽植用のブドウ属植物に対する管理措置として、本菌の入り込みのリスクを低減させることが可能であり、かつ必要以上に貿易制限的でないことを考慮し、以下を特定した。

- 輸出国（栽培中）において、生育期中に栽培地検査を行い、本菌の発生がないことを確

認し、その旨を検査証明書に追記する。また、輸入国（輸入後）において、全量を隔離栽培中の検査対象として、国内の施設において一定期間栽培し、本菌による症状の確認や精密検定を行い、本菌に感染していないことを確認する。

（２）消費用生植物、消費用木材及び消費用乾燥植物類

ア 検討結果

病虫害無発生地域、生産地又は生産用地の設定及び維持（選択肢①）及び栽培地検査（選択肢③）は、消費用生植物、消費用木材及び消費用乾燥植物類において有効な管理措置である。

検査証明書への追記（選択肢⑥）及び輸出入検査（目視検査）（選択肢⑦）は、以下の点から有効な管理措置と考える。

- ・ 通常、輸入される消費用生植物、消費用木材及び消費用乾燥植物類は、直接栽培地へ持ち込まれる可能性は低い。このため、輸入時に症状がなければ感染源となる可能性は無視できると考えられる。

イ リスク管理措置の特定

消費用生植物、消費用木材及び消費用乾燥植物類に対する管理措置として、本菌の入り込みのリスクを低減させることが可能であり、かつ必要以上に貿易制限的でないことを考慮し、以下を特定した。

- 輸出国（輸出時）及び輸入国（輸入時）において、本菌による症状の有無について目視検査を行い、本菌に感染していないことを確認する。

3. *Eutypa lata* の病虫害リスク管理の結論

経路ごとにリスク管理措置の選択肢を検討した結果、本菌の入り込みのリスクを低減させる効果があり、かつ必要以上に貿易制限的ではないと判断した各経路の管理措置を以下にとりまとめた。

経路（対象部位）	対象植物	リスク管理措置
栽植用植物（種子及び果実を除く。）	ウコギ科：セイヨウキヅタ（ <i>Hedera helix</i> ） ウルシ科：アカツユ（ <i>Schinus terebinthifolius</i> ）、コショウボク（ <i>S. molle</i> ）、テレピンノキ（ <i>Pistacia terebinthus</i> ）、ピスタキア・レンティスクス（ <i>P. lentiscus</i> ）、ピスタシオノキ（ <i>P. vera</i> ） カエデ科：コブカエデ（ <i>Acer campestre</i> ）、ヒロハカエデ（ <i>A. macrophyllum</i> ） カキノキ科：カキ（ <i>Diospyros kaki</i> ） カバノキ科：セイヨウシデ（ <i>Carpinus betulus</i> ）、セイヨウハシバミ（ <i>Corylus avellana</i> ） キョウチクトウ科：セイヨウキョウチクトウ（ <i>Nerium oleander</i> ）	○ 輸出国（栽培中）において、生育期中に栽培地検査を行い、本菌の発生がないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。

	ギョリュウ科：ギョリュウ属 (<i>Tamarix</i>) クマツヅラ科：グメリナ・ライヒハルディ (<i>Gmelina leichhardtii</i>)、ランタナ (<i>Lantana camara</i>) クルミ科：ペルシャグルミ (<i>Juglans regia</i>) クロウメモドキ科：クロウメモドキ属 (<i>Rhamnus</i>)、ケアノツス属 (<i>Ceanothus</i>) クワ科：イチジク (<i>Ficus carica</i>) ザクロ科：ザクロ (<i>Punica granatum</i>) シナノキ科：コバノシナノキ (<i>Tilia cordata</i>)、ナツボダイジュ (<i>T. platyphyllos</i>) スイカズラ科：シンフォリカルポス・オルビクラツス (<i>Symphoricarpos orbiculatus</i>)、セイヨウニワトコ (<i>Sambucus nigra</i>)、ロニケラ・アルピゲナ (<i>Lonicera alpigena</i>)、ロニケラ・クシロステウム (<i>L. xylosteum</i>)、ガマズミ属 (<i>Viburnum</i>) スズカケノキ科：モミジバスズカケノキ (<i>Platanus acerifolia</i>) ツツジ科：アルクトスタフィロス・スタンフォーディアナ (<i>Arctostaphylos stanfordiana</i>) トチノキ科：アエスクルス・カリフォルニカ (<i>Aesculus californica</i>) トベラ科：シマトベラ (<i>Pittosporum undulatum</i>) ニレ科：セイヨウハルニレ (<i>Ulmus glabra</i>(=<i>U. scabra</i>)) バラ科：クサボケ (<i>Chaenomeles japonica</i> (= <i>Choenomeles japonica</i>))、セイヨウナシ (<i>Pyrus communis</i>)、ソルブス・アリア (<i>Sorbus aria</i>)、ビワ (<i>Eriobotrya japonica</i>)、マルメロ (<i>Cydonia oblonga</i>)、ヨーロツパナナカマド (<i>Sorbus aucuparia</i>)、サクラ属 (<i>Prunus</i>)、サンザシ属 (<i>Crataegus</i>)、シャリントウ属 (<i>Cotoneaster</i>)、バラ属 (<i>Rosa</i>)、リンゴ属 (<i>Malus</i>) ブドウ科：キッスス・ヒポグラウカ (<i>Cissus hypoglauca</i>) ブナ科：ヨーロツパブナ (<i>Fagus sylvatica</i>)、	
--	---	--

	コナラ属 (<i>Quercus</i>) マメ科：フサアカシア (<i>Acacia dealbata</i>)、ヒトツバエニシダ属 (<i>Genista</i>) ミカン科：ショワジア・テルナタ (<i>Choisya ternata</i>)、レモン (<i>Citrus limon</i>) ミズキ科：ミズキ属 (<i>Comus</i>) メギ科：ベルベリス・ダーウィニー (<i>Berberis darwinii</i>) モクセイ科：オリーブ (<i>Olea europaea</i>)、ウンナンオウバイ (<i>Jasminum mesnyi</i>)、セイヨウトネリコ (<i>Fraxinus excelsior</i>)、ムラサキハシドイ (<i>Syringa vulgaris</i>)、ヨウシュイボタ (<i>Ligustrum vulgare</i>) ヤナギ科：サリックス・カブレア (<i>Salix caprea</i>)、サリックス・マクロナタ (<i>S. mucronata</i>)、サリックス・ラシオレピス (<i>S. lasiolepis</i>)、セイヨウハコヤナギ (<i>Populus nigra</i> var. <i>italica</i> (= <i>P. italica</i>)) ユキノシタ科：スグリ属 (<i>Ribes</i>)	
	ブドウ科：ブドウ属植物 (<i>Vitis</i>)	○ 輸出国（栽培中）において、生育中に栽培地検査を行い、本菌の発生がないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。また、輸入国（輸入後）において、全量を隔離栽培中の検査対象として、国内の施設において一定期間栽培し、本菌による症状の確認や精密検定を行い、本菌に感染していないことを確認する。
消費生植物（種子、果実及び地下部を除く。）、消費木材及び消費乾燥植物類（種子、果実及び地下部を除く。）	ウコギ科：セイヨウキヅタ (<i>Hedera helix</i>) ウルシ科：アカツユ (<i>Schinus terebinthifolius</i>)、コショウボク (<i>S. molle</i>)、テレピンノキ (<i>Pistacia terebinthus</i>)、ピスタキア・レンティスクス (<i>P. lentiscus</i>)、ピスタシオノキ (<i>P. vera</i>) カエデ科：コブカエデ (<i>Acer campestre</i>)、ヒロハカエデ (<i>A. macrophyllum</i>) カキノキ科：カキ (<i>Diospyros kaki</i>)	○ 輸出国（輸出時）及び輸入国（輸入時）において、本菌による症状の有無について目視検査を行い、本菌に感染していないことを確認する。

	カバノキ科：セイヨウシデ (<i>Carpinus betulus</i>)、セイヨウハシバミ (<i>Corylus avellana</i>) キョウチクトウ科：セイヨウキョウチクトウ (<i>Nerium oleander</i>) ギョリュウ科：ギョリュウ属 (<i>Tamarix</i>) クマツヅラ科：グメリナ・ライヒハルディ (<i>Gmelina leichhardtii</i>)、ランタナ (<i>Lantana camara</i>) クルミ科：ペルシャグルミ (<i>Juglans regia</i>) クロウメモドキ科：クロウメモドキ属 (<i>Rhamnus</i>)、ケアノツス属 (<i>Ceanothus</i>) クワ科：イチジク (<i>Ficus carica</i>) ザクロ科：ザクロ (<i>Punica granatum</i>) シナノキ科：コバノシナノキ (<i>Tilia cordata</i>)、ナツボダイジュ (<i>T. platyphyllos</i>) スイカズラ科：シンフォリカルポス・オルビクラツス (<i>Symphoricarpos orbiculatus</i>)、セイヨウニワトコ (<i>Sambucus nigra</i>)、ロニケラ・アルピゲナ (<i>Lonicera alpigena</i>)、ロニケラ・クシロステウム (<i>L. xylosteum</i>)、ガマズミ属 (<i>Viburnum</i>) スズカケノキ科：モミジバスズカケノキ (<i>Platanus acerifolia</i>) ツツジ科：アルクトスタフィロス・スタンフォードディアナ (<i>Arctostaphylos stanfordiana</i>) トチノキ科：アエスクルス・カリフォルニカ (<i>Aesculus californica</i>) トベラ科：シマトベラ (<i>Pittosporum undulatum</i>) ニレ科：セイヨウハルニレ (<i>Ulmus glabra</i> (= <i>U. scabra</i>)) バラ科：クサボケ (<i>Chaenomeles japonica</i> (= <i>Choenomeles japonica</i>))、セイヨウナシ (<i>Pyrus communis</i>)、ソルブス・アリア (<i>Sorbus aria</i>)、ビワ (<i>Eriobotrya japonica</i>)、マルメロ (<i>Cydonia oblonga</i>)、ヨーロッパナナカマド (<i>Sorbus aucuparia</i>)、サクラ属 (<i>Prunus</i>)、サンザシ属 (<i>Crataegus</i>)、	
--	--	--

	シャリントウ属 (<i>Cotoneaster</i>)、バラ属 (<i>Rosa</i>)、リンゴ属 (<i>Malus</i>) ブドウ科：キッスス・ヒポグラウカ (<i>Cissus hypoglauca</i>)、ブドウ属 (<i>Vitis</i>) ブナ科：ヨーロッパブナ (<i>Fagus sylvatica</i>)、コナラ属 (<i>Quercus</i>) マメ科：フサアカシア (<i>Acacia dealbata</i>)、ヒトツバエニシダ属 (<i>Genista</i>) ミカン科：ショワジア・テルナタ (<i>Choisya temata</i>)、レモン (<i>Citrus limon</i>) ミズキ科：ミズキ属 (<i>Cornus</i>) メギ科：ベルベリス・ダーウィニー (<i>Berberis darwinii</i>) モクセイ科：オリーブ (<i>Olea europaea</i>)、ウンナンオウバイ (<i>Jasminum mesnyi</i>)、セイヨウトネリコ (<i>Fraxinus excelsior</i>)、ムラサキハシドイ (<i>Syringa vulgaris</i>)、ヨウシュイボタ (<i>Ligustrum vulgare</i>) ヤナギ科：サリックス・カプレア (<i>Salix caprea</i>)、サリックス・マクロナタ (<i>S. mucronata</i>)、サリックス・ラシオレピス (<i>S. lasiolepis</i>)、セイヨウハコヤナギ (<i>Populus nigra</i> var. <i>italica</i> (= <i>P. italica</i>)) ユキノシタ科：スグリ属 (<i>Ribes</i>)	
--	---	--

なお、輸出国から上記に示す管理措置以外の提案があった場合は、その内容を検討し、上記の管理措置と同等のものであるかを判断する必要がある。

Eutypa lata の発生国等の根拠

国又は地域	ステータス	根拠文献	備考
アジア			
インド	発生	EPPO, 2014	
パキスタン	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
中東			
イスラエル	発生	Munkvold, 2001	
トルコ	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
レバノン	発生	CABI, 2013	
欧州			
アイルランド	発生	NBN Gateway, 2020	
イタリア	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
ウクライナ	発生	EPPO, 2014	
英国	発生	EPPO, 2014	
オーストリア	発生	EPPO, 2014	
キプロス	発生	EPPO, 2014	
ギリシャ	発生	CABI, 2013	
スイス	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
スペイン	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
スロバキア	発生	EPPO, 2014	
セルビア	発生	CABI, 2013	
ドイツ	発生	CABI, 2013; Schwappach and Grimm, 2006; EPPO, 2014	
ノルウェー	発生	Norden B and J. B. Jordal, 2015	
ハンガリー	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
フランス	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
ブルガリア	発生	EPPO, 2014	
ポルトガル	発生	CABI, 2013	
モルドバ	発生	EPPO, 2014	
ルーマニア	発生	CABI, 2013	
アフリカ			
アルジェリア	発生	CABI, 2013	
南アフリカ共和国	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
リビア	発生	EPPO, 2014	
北米			
アメリカ合衆国	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
カナダ	発生	EPPO, 2014	
中南米			
チリ	発生	Grinbergs et al., 2021; Lolas et al., 2020	追加

ブラジル	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014	
ベネズエラ	発生	CABI, 2013	
メキシコ	発生	EPPO, 2014	
大洋州			
オーストラリア	発生	CABI, 2013; EPPO, 2014; Sosnowski et al., 2020	
ニュージーランド	発生	EPPO, 2014	

注) 備考欄の「追加」は、文献情報等に基づき令和4（2022）年12月1日改訂時に追加した国又は地域。

Eutypa lata の宿主植物の根拠

科名	学名	シノニム	和名		英名	根拠文献	備考
			属名	種名			
ウコギ科 (Araliaceae)	<i>Hedera helix</i>		キツタ属	セイヨウキツタ	english ivy	CABI, 2013; Trouillas and Gubler, 2010; Carter, 1991	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Pistacia lentiscus</i>		トネリバハゼ ノキ属	ピスタキア・レ ティスクス	mastic	CABI, 2013; Carter, 1991	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Pistacia terebinthus</i>		トネリバハゼ ノキ属	テレピンノキ	terebinth	Carter, 1991	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Pistacia vera</i>		トネリバハゼ ノキ属	ピスタシオノキ	pistachio	Teviotdale et al., 2001; CABI, 2013; Rumbos, 1986	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Schinus molle</i>		サンショウモ ドキ属	コショウボク	peruvian pepper	CABI, 2013; Carter, 1991	
ウルシ科 (Anacardiaceae)	<i>Schinus terebinthifolius</i>		サンショウモ ドキ属	アカツユ	brazilian pepper tree	CABI, 2013; Carter, 1991	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer campestre</i>		カエデ属	コブカエデ	field maple	Trouillas and Gubler, 2010; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
カエデ科 (Aceraceae)	<i>Acer macrophyllum</i>		カエデ属	ヒロハカエデ	bigleaf maple	Trouillas and Gubler, 2010; Trouillas et al., 2007	
カキノキ科 (Ebenaceae)	<i>Diospyros kaki</i>		カキノキ属	カキ	persimmon	CABI, 2013; Carter, 1991	
カバノキ科 (Betulaceae)	<i>Carpinus betulus</i>		クマシデ属	セイヨウシデ	european hombeam	CABI, 2013; Carter, 1991	
カバノキ科	<i>Corylus avellana</i>		ハシバミ属	セイヨウハシバ	hazel	CABI, 2013; Carter et al.,	

(Betulaceae)				ミ		1983; Carter, 1991	
キョウチクトウ科 (Apocynaceae)	<i>Nerium oleander</i>		キョウチクトウ属	セイヨウキョウチクトウ	common oleander	Trouillas and Gubler, 2010; Trouillas et al., 2007; Carter, 1991	
ギョリュウ科 (Tamaricaceae)	<i>Tamarix</i>		ギョリュウ属		tamarisk	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Gmelina leichhardtii</i>		グメリナ属	グメリナ・ライヒハルディ	white beech	Carter, 1991	
クマツヅラ科 (Verbenaceae)	<i>Lantana camara</i>		ランタナ属	ランタナ	lantana	CABI, 2013; Carter, 1991	
クルミ科 (Juglandaceae)	<i>Juglans regia</i>		クルミ属	ペルシャグルミ	walnut	CABI, 2013; Munkvold, 2001; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Ceanothus</i>		ケアノツス属		white-thorn	CABI, 2013; Munkvold, 2001	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Ceanothus cyaneus</i>		ケアノツス属		san diego ceanothus	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Ceanothus megacarpus</i>		ケアノツス属		bigpod ceanothus	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Ceanothus spinosus</i>		ケアノツス属		greenbark ceanothus, redheart	Carter et al., 1983; Carter, 1991	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Ceanothus thyrsiflorus</i>		ケアノツス属		blueblossom ceanothus	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Rhamnus alaternus</i>		クロウメモドキ属		Italian buckthorn, mediterranean buckthorn	Carter, 1991	
クロウメモドキ科	<i>Rhamnus alpina</i>		クロウメモドキ属		alpen-	Carter, 1991	

(Rhamnaceae)			キ属		kreuzdorn		
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Rhamnus cathartica</i>		クロウメモ キ属	ウメモドキ	buckthorn	CABI, 2013; Carter, 1991	
クロウメモドキ科 (Rhamnaceae)	<i>Rhamnus frangula</i>	<i>Frangula alnus</i>	クロウメモ キ属	セイヨウイソ ノキ	blackcurrant	CABI, 2013; Trouillas and Gubler, 2010; Carter, 1991	
クワ科 (Moraceae)	<i>Ficus carica</i>		イチジク属	イチジク	common fig	CABI, 2013; Carter, 1991	
ザクロ科 (Punicaceae)	<i>Punica granatum</i>		ザクロ属	ザクロ	pomegranate	Sosnowski et al., 2020	
シナノキ科 (Tiliaceae)	<i>Tilia cordata</i>		シナノキ属	コバノシナノ キ	small-leaved lime	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
シナノキ科 (Tiliaceae)	<i>Tilia platyphyllos</i>		シナノキ属	ナツボダイ ジュ	large leaved linden	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Lonicera alpigena</i>		スイカズラ属	ロニケラ・アル ピゲナ	alpine honeysuckle	Carter, 1991	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Lonicera xylosteum</i>		スイカズラ属	ロニケラ・クシ ロステウム	fly honeysuckle	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Sambucus nigra</i>		ニワトコ属	セイヨウニワ トコ	european elder	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Symphoricarpos orbiculatus</i>		シンフォリカ ルポス属	シンフォリカル ポス・オルビク ラツス	coralberry	Carter, 1991	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Viburnum lantana</i>		ガマズミ属		wayfaring tree	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Viburnum opulus</i>		ガマズミ属	ヨウシュカン ボク	guelder rose	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
スイカズラ科 (Caprifoliaceae)	<i>Viburnum tinus</i>		ガマズミ属	トキワガマズ ミ	laurustinus	Carter, 1991	
スズカケノキ科 (Platanaceae)	<i>Platanus acerifolia</i>		スズカケノ キ属	モミジバスズ カケノキ	london planetree	CABI, 2013; Carter, 1991	

ツツジ科 (Ericaceae)	<i>Arctostaphylos stanfordiana</i>		アルクトスタフィロス属	アルクトスタフィロス・スタンフォーディアナ		Carter, 1991	
トチノキ科 (Hippocastanaceae)	<i>Aesculus californica</i>		トチノキ属	アエスクルス・カリフォルニカ	california buckeye	Trouillas and Gubler, 2010; Trouillas et al., 2007	
トベラ科 (Pittosporaceae)	<i>Pittosporum undulatum</i>		トベラ属	シマトベラ	mock orange	CABI, 2013; Carter, 1991	
ニレ科 (Ulmaceae)	<i>Ulmus glabra</i>	<i>U. scabra</i>	ニレ属	セイヨウハルニレ	wych elm	Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Chaenomeles japonica</i>	<i>Choenomeles japonica</i>	ボケ属	クサボケ	lesser flowering quince	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Cotoneaster glaucophyllus</i>		シャリントウ属		bright bead cotoneaster	Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Cotoneaster pannosus</i>	<i>C. pannosa</i>	シャリントウ属	ギンヨウシャリントウ	silverleaf cotoneaster	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Cotoneaster salicifolius</i>		シャリントウ属		willowleaf cotoneaster	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Crataegus</i>		サンザシ属		hawthorns	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Crataegus monogyna</i>		サンザシ属	セイヨウサンザシ	hawthorn	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Cydonia oblonga</i>		マルメロ属	マルメロ	quince	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Eriobotrya japonica</i>		ビワ属	ビワ	loquat	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Malus</i>		リンゴ属			Trouillas and Gubler, 2010; Trouillas et al., 2007	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Malus domestica</i>		リンゴ属	リンゴ	apple	CABI, 2013; Trouillas and Gubler, 2010; Munkvold, 2001; Carter et al., 1983; Carter, 1991	

バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus americana</i>		サクラ属	アメリカスモモ	american plum, wild plum, marshall's large yellow sweet plum	Brenckle, 1917; Farr and Rossman, 2022	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus armeniaca</i>		サクラ属	アンズ	apricot	CABI, 2013; Carter, 1991; Trouillas and Gubler, 2010; EPPO, 2014; Munkvold, 2001; Diekmann and Putter, 1996	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus avium</i>		サクラ属	サクランボ	sweet cherry	CABI, 2013; Trouillas and Gubler, 2010; Munkvold, 2001; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus cerasus</i>		サクラ属	スミミザクラ	sour cherry	CABI, 2013; Munkvold, 2001	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus domestica</i>		サクラ属	セイヨウスモモ	plum	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus dulcis</i>		サクラ属	アーモンド	almond	CABI, 2013; Munkvold, 2001; Carter et al., 1983; Carter, 1991; Trouillas and Gubler, 2010	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus persica</i>		サクラ属	モモ	peach	CABI, 2013; Munkvold, 2001; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus salicina</i>		サクラ属	ニホンスモモ	japanese plum	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus spinosa</i>		サクラ属	スピノサスモモ	blackthorn	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Prunus virginiana</i>	<i>P. demissa</i>	サクラ属	バージニアザクラ	chokecherry	Carter, 1991; Munkvold, 2001; Diekmann and	

						Putter, 1996	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Pyrus communis</i>		ナシ属	セイヨウナシ	european pear	CABI, 2013; Trouillas and Gubler, 2010; Munkvold, 2001; Trouillas et al., 2007; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Rosa</i>		バラ属		roses	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Sorbus aria</i>		ナナカマド属	ソルブス・アリア	whitebeam	CABI, 2013; Carter, 1991	
バラ科 (Rosaceae)	<i>Sorbus aucuparia</i>		ナナカマド属	ヨーロッパナナカマド	mountain ash	CABI, 2013; Carter, 1991	
ブドウ科 (Vitaceae)	<i>Cissus hypoglauca</i>		セイシカズラ属	キッスス・ヒポグラウカ	australian vine	Carter, 1991	
ブドウ科 (Vitaceae)	<i>Vitis</i>		ブドウ属			Carter, 1991	
ブドウ科 (Vitaceae)	<i>Vitis labrusca</i>		ブドウ属		fox grape	CABI, 2013; Trouillas and Gubler, 2010; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
ブドウ科 (Vitaceae)	<i>Vitis rupestris</i>		ブドウ属		sand-grape	CABI, 2013; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
ブドウ科 (Vitaceae)	<i>Vitis vinifera</i>		ブドウ属	ヨーロッパブドウ	grapevine	CABI, 2013; Lecomte and Bailey, 2011; Octave et al., 2009; Trouillas and Gubler, 2010; EPPO, 2014; Munkvold, 2001; Diekmann and Putter, 1996; Trouillas et al., 2007; Carter et al., 1983; Carter, 1991	
ブドウ科 (Vitaceae)	<i>Vitis vinifera</i> subsp.	<i>V. silvestris</i>	ブドウ属	ヨーロッパブドウ	common	Carter, 1991	

	<i>vinifera</i>			ウ	grape		
ブナ科 (Fagaceae)	<i>Fagus sylvatica</i>		ブナ属	ヨーロッパブナ	common beech	CABI, 2013; Carter, 1991	
ブナ科 (Fagaceae)	<i>Quercus</i>		コナラ属			Carter, 1991	
ブナ科 (Fagaceae)	<i>Quercus suber</i>		コナラ属	コルクガシ	cork oak	CABI, 2013; Carter, 1991	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Acacia dealbata</i>		アカシア属	フサアカシア	mimosa	CABI, 2013; Carter, 1991	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista</i>		ヒトツバエニ シダ属		broom	CABI, 2013; Carter, 1991;	
マメ科 (Leguminosae)	<i>Genista monspessulana</i>		ヒトツバエニ シダ属		french broom, montpellier broom	Carter, 1991	
ミカン科 (Rutaceae)	<i>Choisya ternata</i>		ショワジア属	ショワジア・テ ルナタ	mexican orange	Carter, 1991	
ミカン科 (Rutaceae)	<i>Citrus limon</i>		ミカン属	レモン	Lemon	CABI, 2013; Carter, 1991	
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Cornus alba</i>		ミズキ属	シラタマミズキ	red-barked dogwood	CABI, 2013; Carter, 1991	
ミズキ科 (Cornaceae)	<i>Cornus sanguinea</i>		ミズキ属		dogwood	CABI, 2013; Carter, 1991	
メギ科 (Berberidaceae)	<i>Berberis darwinii</i>		メギ属	ベルベリス・ダ ーウィニー	darwin's barberry	Carter, 1991	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Fraxinus excelsior</i>		トネリコ属	セイヨウトネリ コ	european ash	CABI, 2013; Carter, 1991	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Jasminum mesnyi</i>		ソケイ属	ウナンオウバ イ	primrose jasmine	Carter, 1991	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Ligustrum vulgare</i>		イボタノキ属	ヨウシュイボタ	common privet	CABI, 2013; Carter, 1991	
モクセイ科	<i>Olea europaea</i>		オリーブ属	オリーブ	olive	Munkvold, 2001; Tosi and	

(Oleaceae)						Natalini, 2009; Carter, 1991	
モクセイ科 (Oleaceae)	<i>Syringa vulgaris</i>		ハシドイ属	ムラサキハシドイ	lilac	CABI, 2013; Carter, 1991	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Populus nigra</i> var. <i>italica</i>	<i>P. italica</i>	ハコヤナギ属	セイヨウハコヤナギ	lombardy poplar	Carter, 1991	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix caprea</i>		ヤナギ属	サリックス・カプレア	pussy willow	CABI, 2013; Carter, 1991	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix lasiolepis</i>		ヤナギ属	サリックス・ラシオレピス	arroyo willow	Trouillas and Gubler, 2010; Trouillas et al., 2007	
ヤナギ科 (Salicaceae)	<i>Salix mucronata</i>		ヤナギ属	サリックス・マクロナタ		Moyo et al, 2018	
ユキノシタ科 (Saxifragaceae)	<i>Ribes nigrum</i>		スグリ属	クロスグリ	red currant	CABI, 2013; Carter, 1991	
ユキノシタ科 (Saxifragaceae)	<i>Ribes rubrum</i>	<i>R. petraeum</i>	スグリ属	フサスグリ、アカフサスグリ	flowering currant northern red currant	CABI, 2013; Carter, 1991	
ユキノシタ科 (Saxifragaceae)	<i>Ribes sanguineum</i>		スグリ属	ハナスグリ	redflower currant	Carter, 1991	
ユキノシタ科 (Saxifragaceae)	<i>Ribes uva-crispa</i>		スグリ属	セイヨウスグリ	gooseberry	CABI, 2013; Carter, 1991	

***Eutypa lata* の宿主植物に関連する経路の年間輸入検査量
(貨物、郵便物及び携帯品)**

(1) 栽植用植物

単位 (数量): 本

植物名	生産国	発 生 国	2019		2020		2021	
			件数	数量	件数	数量	件数	数量
Ceanothus thyrsiflorus(ティルスフロルス(地上部))	カンダ	×			1	1,000		
Ceanothus(ケアツス属(リチャ属))	オランダ	×	1	50				
Chaenomeles japonica (=Choenomeles japonica)(クサハケ)	台湾	×	1	2				
Citrus limon(レモン)	ドイツ	○					1	68
	パキスタン	○	1	1			1	4
	ベトナム	×	2	5	1	1	1	10
Cornus alba(シロミズキ)	オランダ	×	3	1,295	1	500	3	699
Cornus florida(アメリカヤマボウシ(ハナミズキ))	オランダ	×					1	50
Cornus kousa(ヤマボウシ)	オランダ	×	1	197				
	日本	×	1	18				
Cornus mas(セイヨウササユヅ)	オランダ	×			1	60	2	60
Cornus officinalis(ササユヅ 盆栽)	日本	×			1	4		
Cornus sanguinea(サングイネ)	オランダ	×			1	100		
Cornus(ミズキ属)	韓国	×	1	30				
	日本	×	1	4				
	米国	○	1	38				
Corylus avellana(セイウハシバミ)	イタリア	○	4	1,100	8	4,840	6	7,700
	オランダ	×	4	1,700	6	2,348	8	3,313
	ニュージーランド	○					1	400
Cotoneaster horizontalis(ベニタン 盆栽)	日本	×			1	82		

Cotoneaster(シャリントウ属 (地上部))	ウガンダ	×			1	1,000		
Cotoneaster(シャリントウ属)	米国	○	1	38				
Crataegus cuneata(サ ザシ 盆栽)	日本	×			1	1		
Crataegus cuneata(サ ザシ)	台湾	×	1	1				
	中国	×					1	3
Diospyros kaki(カキ 盆栽)	日本	×			1	2		
Fagus sylvatica(ヨーロッパ ブナ)	オランダ	×			2	669		
Ficus carica(イチジク(地上 部))	アフガニスタ ン	×					1	21
	イスラエル	○					1	5
	キプロス	○					17	93
	ギリシャ	○					1	37
	スペイン	○					11	40
	タイ	×			13	85	23	133
	トルコ	○					20	48
	フランス	○					2	4
	ポルトガル	○					1	4
	中国	×			1	3		
	米国	○					41	212
Ficus carica(イチジク)	オランダ	×	5	740	6	684	9	2,579
	ギリシャ	○	1	5				
	タイ	×			7	34	19	108
	フランス	○					1	50
	ポルトガル	○					1	8
	中国	×	1	3				
	米国	○			1	1	13	183
Hedera helix(セイヨウキヅタ (地上部))	ウガンダ	×			11	11,000		
	オランダ	×	5	70,000	3	70,000		
	グアテマラ	×	3	35,000	2	55,000	2	10,000
	ケニア	×			7	1,400		
	スリランカ	×	430	112,100	60	24,600		
	ベトナム	×			3	8,000	26	104,200
	中国	×					7	41,000
Hedera helix(セイヨウキヅタ)	オランダ	×	1	40				
	スリランカ	×			15	162		
	ベトナム	×			3	13,500		
	マレーシア	×			6	500	4	1,710
	オランダ	×					2	10

Juglans regia(ヘールジャクルミ)	米国	○	1	20				
Lantana camara(ランタナ(地上部))	イスラエル	○	8	1,300	29	2,725	4	200
	ケニア	×	46	25,900	68	29,690	125	61,415
	スリランカ	×	59	67,782	62	98,210	55	133,170
	ニカラガア	×	15	20,000	3	300	5	450
Lantana camara(ランタナ)	イスラエル	○	9	180	4	1,000		
	スリランカ	×					5	1,595
	ドイツ	○					4	416
Ligustrum vulgare(ヨウシュイボタ(ヨウシュイボタノキ))	米国	○	1	100				
Malus micromalus(カイドウ 盆栽)	日本	×			1	1		
Malus pumila var. domestica(リンゴ(地上部))	オーストラリア	○	3	9			2	6
	タスマニア	×			2	10		
	南アフリカ	○					1	13
Malus pumila var. domestica(リンゴ)	ウクライナ	○					1	1
Malus pumila(セイヨウリンゴ(地上部))	オーストラリア	○					7	21
Malus sieboldii var. zumi(スミ 盆栽)	日本	×			1	4		
Malus(リンゴ 属(地上部))	オーストラリア	○			1	3		
Olea europaea(オリーブ(地上部))	イタリア	○					1	100
	スペイン	○			15	600		
Olea europaea(オリーブ)	イタリア	○	101	26,303	38	11,220	41	12,942
	ギリシャ	○	4	1,205				
	スペイン	○	59	4,112	27	472	24	611
	チュニジア	×	1	350			4	1,000
	トルコ	○	5	7,870	3	6,310	2	5,004
Pistacia lentiscus(ピスタチア・レンティスクス)	スペイン	○	1	2,160	1	2,890	1	1,080
Platanus acerifolia(モミジバシラカノキ)	スペイン	○					1	8
Prunus amygdalus(アーモンド)	米国	○			4	12	4	12
Prunus avium(サクラボ(カンカウトウ))	中国	×	1	1			1	6
Prunus incisa(マザクラ(地上部))	英国	○	1	5				
Prunus mume(ウメ 盆栽)	日本	×			1	54		
Prunus mume(ウメ)	台湾	×	1	9				

	中国	×	3	10				
Prunus persica(桃)	スペイン	○					2	40
	中国	×	1	1				
	米国	○			2	12		
Prunus(サクラ属 盆栽)	日本	×			1	46		
Prunus(サクラ属(地上部))	英国	○	16	80				
Prunus(サクラ属)	スペイン	○					5	20
	ドイツ	○	3	18				
	オーストリア	×	1	10				
	台湾	×			2	28	2	79
	中国	×	1	4	1	2		
	日本	×			1	10		
Punica granatum(ザクロ 盆栽)	日本	×			1	19		
Punica granatum(ザクロ)	スペイン	○			3	20	1	10
	ニュージニアランド	○	2	100	1	90	1	195
	中国	×	10	2,596	12	2,415	11	2,098
Quercus serrata(コナラ 盆栽)	日本	×			1	1		
Quercus suber(コルクガシ)	ポルトガル	×					1	230
	スペイン	○			1	10	1	26
Quercus(コナラ属(ガシ属))	スペイン	○			1	3		
Rhamnus frangula(セイヨウイノキ)	ポルトガル	×	1	100				
Ribes grossularioides(スゲリ)	英国	○	1	3				
Ribes nigrum(クロフサスゲリ)	英国	○	1	1				
Rosa canina(ロサ・カナ)	ポルトガル	×			1	10		
Rosa centifolia(セイヨウバラ)	韓国	×	1	24				
	日本	×					4	15
Rosa chinensis(コウシンバラ)	ポルトガル	×	1	3				
Rosa damascena(ダマスカスバラ)	ブルガリア	○					2	3,000
Rosa floribunda(ロサ・フロリバンダ (地上部))	米国	○			6	44		
Rosa multiflora(ノイバラ)	ポルトガル	×	1	10,400			3	10,300
Rosa rugosa(ハマナス)	ポルトガル	×	2	100	2	50		
	中国	×					1	47

Rosa wichuraiana(テリハ/ ハバラ)	中国	×					1	100
Rosa(バラ属 盆栽)	日本	×			1	208		
Rosa(バラ属(地下部))	オランダ	×			7	256		
Rosa(バラ属(地上部))	インドネシア	×	1	1				
	オランダ	×	160	3,506	144	4,918	108	2,612
	ケニア	×	44	3,764	33	656	33	330
	スリランカ	×	18	500				
	デンマーク	×	29	93,800	35	35,815	7	2,917
	ドイツ	○	112	1,741	70	1,255	84	1,588
	フランス	○	67	931	73	385	82	666
	ベトナム	×					1	20
	ポーランド	×					1	1
	英国	○	24	317	39	192	19	58
	台湾	×					1	5
	米国	○					6	57
Rosa(バラ属)	オランダ	×	288	41,840	420	43,262	340	41,740
	スリランカ	×			1	150		
	タイ	×	1	10				
	デンマーク	×	8	28	18	81	8	28
	ドイツ	○			14	652		
	パキスタン	○	1	2			1	2
	ブラジル	○	1	15				
	フランス	○	78	143	38	53		
	ブルガリア	○					1	6
	ベトナム	×	2	18	1	6	9	167
	ベルギー	×	82	815	62	310	9	45
	英国	○	882	72,952	674	68,040	683	77,435
	韓国	×	3	9	1	3	6	18
	中国	×	2	7	1	5	4	302
	日本	×	6	83	4	15	17	53
	米国	○	3	116			30	200
Sambucus nigra(セイヨウニワ トコ)	アイルランド	○	1	504				
	ウガンダ	×			1	1,500		
	オランダ	×	1	1,260	1	104	1	1,151
Schinus molle(コショウホク)	スペイン	○	2	38	1	30	1	30
Schinus terebinthifolius(アカツユ(サンシ ョウモトキ))	スペイン	○	1	12	1	10		
Syringa vulgaris(ムササビハ ンドイ)	オランダ	×	1	50	6	180	4	130
	日本	×	1	100				

Tamarix pentandra(ペンタンドラ)	スペイン	○					1	32
Viburnum carlesii(オチコウジガマスミ)	米国	○			1	250		
Viburnum dilatatum(ガマスミ)	日本	×	1	25				
Viburnum odoratissimum(サンゴシユ)	中国	×					1	38
Viburnum tinus(チヌス)	フランス	×			1	300		
Viburnum(ガマスミ属)	フランス	×	1	100	1	200	1	300
	米国	○					2	68
Vitis vinifera(ヨーロッパドウ(地上部))	米国	○			1	22	4	24
Vitis vinifera(ヨーロッパドウ)	イタリア	○	2	50	1	100	6	150
	ギリシャ	○	3	70				
	ドイツ	○	2	120	4	100	1	7
Vitis(ブドウ属(地上部))	ルーマニア	○			1	4		
	韓国	×			3	117		
	日本	×	4	9				
Vitis(ブドウ属)	イタリア	○	5	201	11	295		
	オーストラリア	○			26	130		
	ジョージア	×			4	100		
	スイス	○	1	70				
	ニュージーランド	○	3	90	2	110	7	401
	韓国	×			1	20		
	中国	×	2	10			4	19
	米国	○			25	778	17	1,851

(2) 消費生植物 (切り枝/花)

単位 (数量) : 本

植物名	生産国	発 生 国	2019		2020		2021	
			件数	数量	件数	数量	件数	数量
Acacia dealbata(アサカシア)	イタリア	○	1	100			2	5,370
	フランス	○	6	830	1	50		
Choisya temata(シヨウジヤ・テルタ)	フランス	×	31	5,090			5	650
Cornus alba(コルミミスキ)	フランス	×	2	150				
	台湾	×	1	10				
Cornus controversa(ミスキ)	中国	×	2	1,000			2	765

Cornus(ミズキ属)	オランダ	×	3	180				
	ニューゼーランド	○	4	19,090	5	11,950	9	19,000
	韓国	×	1	20				
	中国	×	1	750	5	970	2	157
Eriobotrya japonica(ヒメワ)	台湾	×	1	2				
Genista(ヒツパエシタ属)	イスラエル	○	1	50	1	100		
	イタリア	○	4	15,900	5	3,565	19	9,350
Hedera helix(セイヨウキヅタ)	イタリア	○					7	550
	ゲアム	×			1	14		
	フランス	○			1	100		
	台湾	×	1	2				
	日本	×	1	111	1	8		
Olea europaea(オリーブ)	イタリア	○	38	48,996	13	4,900	8	7,100
	オーストラリア	○	1	1				
	スペイン	○			1	1		
	ドイツ	○			1	6		
	ハワイ諸島	×	1	9				
Pistacia lentiscus(ヒスタキア・レントイスクス)	イタリア	○	2	600			6	4,000
	オランダ	×					1	100
	スペイン	○	53	5,950	13	950	28	1,610
	フランス	○			1	50		
Prunus glandulosa alboplena(ケラント・ロサ・アルボ・プレーナ)	オランダ	×	2	400				
Prunus mume(ウメ)	中国	×	10	172,050	10	107,450	12	158,200
Prunus persica(モモ)	ベトナム	×	1	30				
	中国	×	1	1				
Prunus(サクラ属)	シンガポール	×	2	40				
	中国	×	2	2				
	米国	○			1	1		
Quercus dentata(カシ)	中国	×	1	1				
Quercus palustris(ケルクス・パルストリス)	オランダ	×					6	1,700
Quercus rubra(アカカシ)	オランダ	×	1	20	6	3,020	2	260

Quercus(コナ属(かし 属))	イタリア	○	5	6,320	1	300		
	オランダ	×	29	8,880	23	13,000	36	23,980
	ドイツ	○			1	400		
Rosa californica(ロ サ・カリフォルニカ)	韓国	×	1	4				
Rosa canina(ロサ・カ ニナ)	イタリア	○	1	50				
Rosa centifolia(セ ンティフォリア)	韓国	×	12	3,832	2	15	69	1,393,817
Rosa rugosa(ハマ ス)	韓国	×	1	10				
	台湾	×					1	20
	中国	×					6	17,810
Rosa(バラ属(花の み(茎葉なし)))	インド	○	2	102				
	インドネシア	×			1	10		
	タイ	×	6	67	2	2		
	パール	×					1	1
	ハワイ諸島	×	6	16				
	マルタ	×			1	1		
	マレーシア	×	1	30				
	韓国	×	1	14				
	香港	×	1	1				
	中国	×	2	120				
	米国	○	1	100				
Rosa(バラ属)	アイルランド	○			1	1		
	アラブ首長国連邦	×	8	87	8	15	3	17
	イタリア	○	17	2,380	2	18		
	イラク	×			1	1		
	イラン	×	1	75				
	インド	○	293	7,351,275	80	1,597,743	9	94,807
	インドネシア	×	27	481	3	18		
	ウガンダ	×	138	2,700,030	134	1,781,220	229	2,808,660
	エクアドル	×	1,124	3,440,352	905	2,881,028	887	3,219,729
	エチオピア	×	921	10,694,005	621	7,851,515	503	8,423,946
	オーストラリア	○	9	59	7	48		
	オーストリア	○			3	6		
	オランダ	×	844	388,756	407	150,369	371	125,248

ガザフスタ ン	×					1	5
カタール	×	1	10	2	2	1	1
カタダ	○	6	29	4	6	1	5
カンボジ ア	×			1	2		
ギリシャ	○	1	13	1	2		
ゲアム	×	15	1,373	4	282		
ケニア	×	3,075	22,168,699	1,854	14,943,450	1,433	18,456,898
コロンビ ア	×	1,629	3,485,044	1,458	3,116,039	1,437	3,255,070
サウジアラ ビア	×	2	2				
ザンビア	×	2	3,030				
シンガポ ール	×	15	214	5	48		
スイス	○	2	4	1	1		
スペイン	○	2	3	1	10		
スリランカ	×					1	6
タイ	×	50	727	5	24	3	505
ドイツ	○	10	70	5	84		
トルコ	○	4	58	1	20	3	13
ニュージ ーランド	○	2	400				
ネパール	×	1	10	2	3		
ハワイ諸 島	×	72	789	16	132	2	6
バングラ デシュ	×	2	4				
フィリピン	×	38	258	12	88	3	8
フランス	○	76	388	14	20		
ブルネイ	×	1	3				
ベトナム	×	63	909	12	8,630	144	129,186
ベラルーシ	×	1	3				
マレーシア	×	7	37	2	62	2	55
メキシコ	○	2	27	1	300	1	520
モルディ ブ	×	1	4	1	1		
モロッコ	×	1	1			1	5
モンゴル	×	1	1	1	5		
ルーマニア	○	1	1				
ルワンダ	×	3	8,050	3	29,300	2	58,100
ロシア	×	9	81	23	23	1	11
英国	○	8	53	4	23		

	韓国	×	291	2,596,781	139	2,379,874	32	551,342
	香港	×	22	383	1	1	2	4
	台湾	×	22	212	4	28		
	中国	×	144	523,653	91	944,080	72	571,434
	日本	×	1	80				
	米国	○	30	330	7	39	9	41
Schinus molle(ゴッソ カボク)	エクアドル	×	1	1,000				
	ペルー	×	4	121,670	1	28,320	3	160,320
Syringa vulgaris(ム ラサキハシトイ)	オランダ	×	63	4,760	7	560	1	10
Viburnum dentatum(デントータ ム)	イタリア	○			1	45		
	オランダ	×	4	240			2	100
Viburnum opulus(ヨウシュカボク)	イタリア	○					1	50
	オランダ	×	65	3,260	40	2,040	56	2,810
	ドイツ	○	2	70				
	ニュージー ランド	○	6	5,695	4	1,365		
	南アフリカ	○					3	2,050
Viburnum tinus(チヌ ス)	イタリア	○	22	3,620	6	600	14	5,950
	オランダ	×	3	200				
	スペイン	○	1	50				
	ニュージー ランド	○	2	300				
	フランス	○	2	100	1	50		
	南アフリカ	○	15	18,800			6	4,200
Viburnum(ガマズミ 属)	イスラエル	○	13	3,650	1	100	1	160
	イタリア	○	188	174,533	179	125,025	113	105,030
	オランダ	×	510	105,345	321	44,190	204	24,040
	コロンビア	×	1	110	2	120	1	20
	スペイン	○			1	4		
	ドイツ	○	14	1,600	3	140		
	ニュージー ランド	○	107	132,980	59	73,978	47	58,480
	フランス	○	20	3,505	2	250		
	ベルギー	×	1	70				
	中国	×	1	20				
	南アフリカ	○	112	94,430	40	114,530	89	153,840

(3) 木材

単位 (数量) : m³

植物名	生産国	発生国	2019		2020		2021	
			件数	数量	件数	数量	件数	数量
Acer macrophyllum(ヒハカエデ)	米国	○			1	5		
Carpinus betulus(セイウシデ)	クロアチア	×					1	2
Fagus sylvatica(ヨーロッパナ)	クロアチア	×			1	33	4	110
	スロベニア	×			7	244	5	159
	ドイツ	○			5	135	6	186
Fraxinus excelsior(セイヨウトネリコ)	スペイン	○					1	2
	ルーマニア	○			1	11		
Juglans regia(ペルシヤクルミ)	イタリア	○					1	4
Olea europaea(オリーブ)	フランス	○	1	10				
Prunus avium(サクランボ (カンカウトル))	米国	○			2	27		
Prunus serotina(セロイナ)	米国	○	1	5	2	4	1	2
Prunus(サクラ属)	オーストリア	○	1	37	1	24		
	ルーマニア	○			1	2		
	米国	○	44	522	94	2,199	53	1,469
Quercus alba(クエルクス・アルバ)	米国	○	15	226	50	616	62	826
Quercus glauca(アワガシ)	米国	○	1	9				
Quercus macrocarpa(マクロカルパ)	セルビア	○					1	22
	フランス	○					3	98
	米国	○	265	9,672	259	10,475	174	6,655
Quercus mongolica(モンゴリク)	ロシア	×	7	156			2	68
Quercus palustris(クエルクス・パルストリス)	米国	○	1	2				
Quercus robur(オウクシュウ)	ルーマニア	○			1	6		
	米国	○					1	47
Quercus rubra(アカガシ)	米国	○	16	290	18	307	20	267
	オーストリア	○	2	549	3	746	6	880

Quercus(コナ属(カシ属))	クワチア	×	6	607	5	662	4	192
	スペイン	○					1	12
	スロベニア	×	2	94			1	42
	ドイツ	○			2	22	1	44
	フランス	○	7	194	4	148	1	24
	ブルガリア	○					1	20
	ベルギー	×			1	25	2	49
	ポーランド	×			2	80		
	ルーマニア	○			3	75	3	76
	ロシア	×	13	921	4	286		
	米国	○	92	1,442	33	1,026	14	634
Tilia cordata(コハナノキ)	ブルガリア	○					1	28
	ルーマニア	○			1	34		

(4) 消費用乾燥植物類

単位 (数量) : kg

植物名	生産国	発 生 国	2019		2020		2021	
			件数	数量	件数	数量	件数	数量
Acacia dealbata(アサカシア)	ベトナム	×					6	64,678
Aesculus californica(アエスクルス・カリフォルニカ)	米国	○					1	1
Ceanothus americanum(ソリチヤ)	中国	×					1	8
Citrus limon(レモン)	イスラエル	○			1	140		
	イタリア	○	3	19,210	1	6,160		
	イラン	×	1	1	1	225	2	418
	エジプト	×					1	1
	オーストラリア	○			1	5		
	カンボジア	×			1	1	2	2
	スペイン	○	11	25,573	4	23,116	7	60,887
	タイ	×	1	1	1	1	2	2
	タンザニア	×					1	40
	チリ	○	9	51,790	2	36,546	3	34,596
	トルコ	○	2	15,004	2	10,082	1	18,000
	ナイジェリア	×	1	1				
	ニュージーランド	○	2	45,192	5	102,367	4	87,024
	バーレーン	×	1	1				
	フィリピン	×					1	1

	ベトナム	×	5	5	4	4	6	6
	マダガスカル	×					1	1
	ミャンマー	×	1	1			1	1
	モロッコ	×			3	40,176	1	6
	英国	○	5	36	1	1	1	1
	台湾	×	1	1				
	中国	×	6	15	1	1		
	南アフリカ	○	2	9,510	2	4,904	2	25,739
	米国	○	3	44,908	4	28,419	3	95,101
Cornus officinalis(サンシュユ)	韓国	×	1	1				
	中国	×	4	11,471	4	15,911	5	14,837
Cornus stolonifera(コルス・ストロニフェラ)	米国	○					1	1
Corylus avellana(セイヨウハシバミ)	ドイツ	○			2	2		
	英国	○					1	1
Crataegus cuneata(サザシ)	アルバニア	×					2	31
	台湾	×			1	2		
	中国	×	7	8	2	2	1	2
Crataegus monogyna(セイヨウサザシ)	アルバニア	×					1	1
	ブルガリア	○			1	63		
	ポーランド	×	1	2				
Crataegus(サザシ属 粉・破碎)	アルバニア	×					1	10
	中国	×	1	14				
Crataegus(サザシ属)	アルバニア	×	4	670	2	51		
	クロアチア	×					1	100
	刊	○	2	145	4	285	4	405
	ハンガリー	○	1	100				
	フランス	○					1	2
	ブルガリア	○			1	1	2	100
	ポーランド	×			1	1		
	香港	×	1	1				
	中国	×	7	7	2	14		
Cydonia oblonga(マルメロ)	インド	○	13	12,551	11	12,245	15	15,002
	ルーマニア	○	1	1				
Diospyros kaki(柿)	フィリピン	×			1	1		
	フランス	○					1	1
	韓国	×	2	4				
	中国	×	9	10,773	12	19,178	11	13,643
Eriobotrya japonica(ヒメワ)	台湾	×					1	10
	中国	×	16	20,582	21	24,025	19	23,455
	米国	○			1	1		

Fagus sylvatica(ヨーロッパナ)	イタリア	○			9	466	12	332
	オランダ	×					1	1
Ficus carica(イチジク)	中国	×	1	1				
Fraxinus excelsior(セイヨウトネリコ)	ドイツ	○					2	10
	フランス	○	1	1				
Hedera helix(セイヨウキヅタ)	オーストラリア	○			1	2		
	セルビア	○	1	25				
	ドイツ	○	1	20	2	26		
Juglans regia(ペルシャクルミ 粉・破碎)	ドイツ	○					1	50
	中国	×			1	9,000		
Juglans regia(ペルシャクルミ(殻) 粉・破碎)	リ	○	1	20,000				
	ベトナム	×	10	320,000	10	240,000	12	240,000
	中国	×	14	184,480	22	272,181	19	254,590
	米国	○	17	778,403	21	818,278	32	1,057,774
Juglans regia(ペルシャクルミ(殻))	米国	○	1	9			1	69
Juglans regia(ペルシャクルミ(燃料用(バイオマス燃料用)) チップ)	米国	○			1	2		
Juglans regia(ペルシャクルミ(燃料用(バイオマス燃料用)) 粉・破碎)	米国	○			1	1	1	24
Juglans regia(ペルシャクルミ)	ブラジル	○	1	1				
	フランス	○			1	1		
	ベトナム	×					1	1
	英国	○			3	250		
	中国	×	1	292			1	111
Lantana camara(ランタナ)	マダガスカル	×	1	1				
Malus pumila var. domestica(リンゴ キューブ・ペレット)	中国	×	1	26,000	2	78,000	5	127,600
Malus pumila var. domestica(リンゴ 粕)	ポーランド	×			1	1		
	中国	×	13	492,000	10	413,000	11	432,400
Malus pumila var. domestica(リンゴ)	オーストリア	○	2	4,772	2	5,040	1	3,270
	ドイツ	○			1	1	2	60
	ハンガリー	○	1	2,385				
	ラトビア	×					1	1
	ロシア	×					1	1

	韓国	×	1	1	1	2		
	中国	×	2	3	4	52,461	3	52,456
Malus pumila(セイウリンゴ 其他加工品)	リトアニア	×	2	399				
Malus pumila(セイウリンゴ)	中国	×					1	1,298
Malus(リンゴ 属 粕)	ポーランド	×					1	9,000
	中国	×	22	747,400	20	825,800	25	941,200
Malus(リンゴ 属 粉・破碎)	中国	×			1	360		
Malus(リンゴ 属)	アルバニア	×					1	10
	ドイツ	○	2	159	1	1	1	1,000
	ベトナム	×					1	2
	マレーシア	×	1	1				
	ラトヴィア	×					1	1
	中国	×	7	17	3	7,209	7	8,675
	南アフリカ	○					1	100
	米国	○			1	1	1	76
Olea europaea(オリーブ キューブ・ペレット)	スペイン	○			1	2		
Olea europaea(オリーブ 其他加工品)	チュニジア	×	1	3,000				
Olea europaea(オリーブ 粕)	ギリシャ	○			1	20,200	1	21,000
	スペイン	○	2	18,480				
	米国	○	13	212,147	19	388,535	17	328,338
Olea europaea(オリーブ 粉・破碎)	ギリシャ	○			1	5		
	チュニジア	×	3	372	1	280	1	1
	フランス	○	1	200	1	102,000		
	米国	○	1	257				
Olea europaea(オリーブ (燃料用(バイオマス 燃料用)) 粕)	ギリシャ	○					1	1
Olea europaea(オリーブ)	ギリシャ	○	1	5	2	133	3	103
	スペイン	○	4	205	2	337		
	チュニジア	×	4	31	1	120	5	280
	トルコ	○			1	1		
	フランス	○			1	1	1	2
	モロッコ	×	1	250	2	351	1	1
	南アフリカ	○			1	2		
	米国	○					1	3

Pistacia vera(ピスタチオ/キ)	中国	×					1	1
Prunus americana(アメリカスモ)	シンガポール	×			1	1		
Prunus amygdalus(アーモンド 粕)	米国	○	1	12,982	1	9,457	4	79,061
Prunus amygdalus(アーモンド 粉・破碎)	米国	○	1	63,856				
Prunus amygdalus(アーモンド (殻))	米国	○	1	16				
Prunus amygdalus(アーモンド (燃料用(バイオマス燃料用)))	オーストラリア	○					1	7,082
Prunus amygdalus(アーモンド)	スペイン	○	5	14,012	11	17,500	11	12,700
	フランス	○			1	1		
	英国	○	7	227				
	米国	○	15	5,509	12	545	6	168
Prunus armeniaca var. ansu(アーンス (殻) 粉・破碎)	南アフリカ	○	1	6,000	1	6,000	1	4,000
Prunus armeniaca var. ansu(アーンス)	ウズベキスタン	×	1	1				
	トルコ	○	1	13	1	10	2	18
	ネパール	×	1	1				
	香港	×			1	1		
	台湾	×					1	1
	中国	×	6	3,604	11	12,981	6	3,605
Prunus armeniaca(ホアンズ (殻) 粉・破碎)	南アフリカ	○	5	13,000	3	8,000	2	6,000
Prunus armeniaca(ホアンズ)	ウズベキスタン	×					1	1
	台湾	×					1	408
	中国	×	22	81,963	13	85,673	15	81,217
Prunus avium(サクラソビ (カンカウツウ))	ドイツ	○					1	8
	トルコ	○					1	1
	ブラジル	○	1	2				
	フランス	○			1	1		

	ベルギー	×	2	3,836	1	626	3	3,966
	ポーランド	×			1	8		
Prunus besseyi(ベッセイイ)	米国	○	1	2,000				
Prunus cerasus(スミセイウミザクラ)	ウズベキスタン	×	5	11			1	2
	フランス	○	1	1				
	ポーランド	×					2	162
Prunus domestica(セイウスイロモモ 粕)	米国	○	1	1,000				
Prunus jamasakura(ヤマザクラ)	中国	×			2	7,817	5	39,970
Prunus japonica(ニワウメ)	中国	×	1	50			1	1
Prunus mume(ウメ)	中国	×	2	1,575			3	1,815
Prunus persica var. nucipersica(ネクタリン)	中国	×	2	12,900	2	20,000	1	10,000
Prunus persica(桃 (殻) 粉・破碎)	中国	×	1	17,000	2	2,525	1	2,000
	南アフリカ	○	6	83,000	4	54,000	7	94,000
	日本	×			1	20		
Prunus persica(桃 (燃料用(ハチイヌ燃料用)))	米国	○			1	1		
Prunus persica(桃)	ウズベキスタン	×					1	1
	トルコ	○					1	1
	韓国	×					1	1
	中国	×	28	132,268	26	98,361	32	175,124
	米国	○	1	1			2	2
Prunus serotina(セロイナ)	米国	○					1	1
Prunus spinulosa(リンボク)	英国	○	1	1				
Prunus(サクラ属 粕)	米国	○	1	9,798	1	20,421		
Prunus(サクラ属)	インド	×					1	1
	香港	×	1	72				
	台湾	×			1	1		
	中国	×	12	13,787	17	28,541	14	15,532
	米国	○			1	1	1	141
	インド	×			1	1	1	4

Punica granatum(ザク)	インド	○			4	573	8	1,493
	ウズベキスタン	×			2	2	1	3
	パキスタン	○					1	1
	フランス	○	1	1				
	ヨルダン	×			1	1		
	中国	×			2	300	2	230
	米国	○	1	1				
Quercus acutissima(クヌギ 粉・破碎)	ポルトガル	○	1	39				
	中国	×					2	32,800
Quercus acutissima(クヌギ)	リトアニア	×					1	75
	中国	×	4	66,914	2	42,419	1	420
Quercus dentata(カシ)	ラトビア	×			1	2	1	1
	韓国	×			1	2		
	中国	×	6	8			1	1
Quercus mongolica var. grosseserrata(ミズナラ)	ロシア	×					1	1
Quercus robur(オクシウナラ)	イタリア	○					3	73
	ラトビア	×					1	2
	リトアニア	×	10	70	4	85		
Quercus rubra(アカガシ)	ウクライナ	○					1	8
	エストニア	×					1	17
Quercus salicina(ヤブガシ)	韓国	×			1	1		
Quercus suber(コルクガシ)	ポルトガル	○	3	5,080	1	1,080	5	9,196
Quercus(コナラ属(カシ属) その他加工品)	リトアニア	×	2	1,132	1	44,760	2	48,000
Quercus(コナラ属(カシ属) 粉・破碎)	英国	○	1	19				
Quercus(コナラ属(カシ属)(燃料用(ハチマス燃料用)) ペレット)	オーストラリア	○			1	60,000		
	ベトナム	×			2	1,031,290		
Quercus(コナラ属(カシ属))	イタリア	○	3	15	3	13	3	185
	インド	○					1	60
	エストニア	×					6	247
	カタール	○					1	1
	スイス	○	1	27				
	フィリピン	×					1	3

	ブルガリア	○	1	5				
	ポルトガル	○					2	9
	ラトビア	×					5	63
	リトアニア	×					1	20
	ルーマニア	○	1	5				
	ロシア	×	1	1	1	1	1	3
	中国	×	2	2			1	89
	米国	○			1	1		
	北マケドニア共和国	×	1	12				
Rhamnus purshiana(ハニシアナ)	スペイン	○	1	50				
	ドイツ	○	2	2				
	ベルギー	×			1	1		
	モロッコ	×	1	1				
	米国	○	5	2,463	7	7,295	6	1,050
Rhamnus(クワメトキ属)	スウェーデン	×			1	1		
	ドイツ	○	1	1				
	米国	○			1	1		
Ribes nigrum(クワサズグリ)	ギリシャ	○	7	85	16	189	15	213
	フランス	○	3	3				
	ポーランド	×	2	300				
	英国	○					1	2
	米国	○	8	95				
Ribes(スグリ属(カラント))	モンゴル	×			1	1		
	ロシア	×					1	1
	英国	○	1	14,850				
Rosa acicularis(材効バウ)	中国	×	1	115				
Rosa canina(サカキ)	イラン	×					1	1
	セルビア	○	1	1	1	3	1	90
	チリ	○	5	7,077	8	3,339	8	4,517
	ポーランド	×	1	1				
	ルーマニア	○			1	10	1	10
	南アフリカ	○					1	1
	米国	○			1	7		
Rosa centifolia(セイヨウバウ)	イラン	×					1,289	1,576
	インド	○					1	7
	パキスタン	○	2	12				
	モロッコ	×	3	16	1	40		
	韓国	×	1	1				
	中国	×	1	2			1	404
Rosa chinensis(コシバウ)	中国	×	1	50				

Rosa damascena(ダマス バラ 粉・破碎)	ブルガリア	○			1	1		
Rosa damascena(ダマス バラ)	イラン	×	1	85	1	6	2	40
	インド	○					1	10
	オーストラリア	○	1	17	2	37		
	チリ	○	1	3				
	フランス	○					1	1
	ブルガリア	○	2	80	4	196	3	210
	モロッコ	×	2	295	2	234	1	15
Rosa gallica(ガリ カ)	オーストラリア	○			1	1		
	シリア	×			1	1		
	パキスタン	○	3	12,883	1	3,240	1	3,300
	フランス	○	1	1				
Rosa laevigata(ナ ワイバラ)	中国	×	1	4			1	1
Rosa rugosa var. plena(マイカイ)	中国	×	1	497	2	711	1	328
Rosa rugosa(ハマ ス)	チリ	○			1	10,000		
	ブルガリア	○					1	10,000
	中国	×	1	200			1	1
Rosa(バラ属 粉・ 破碎)	中国	×			1	500		
Rosa(バラ属)	アイルランド	○			3	3		
	アラブ 首 長国連 邦	×					1	1
	アルゼンチン	×	2	60,090	1	1	1	20,000
	アルバニア	×			2	360		
	イスラエル	○			1	1		
	イタリア	○	3	20	1	1		
	イラン	×	4	319	1	1	7	160
	インド	○	4	1,508			2	2
	ウクライナ	○					1	1
	ウズベキ スタン	×					1	1
	エクアドル	×	34	6,377	28	3,075	38	4,630
	エジプト	×					1	1
	オーストラリア	○	3	3	3	39		
	オーストラリア	○	1	1				
	カタール	×			2	2		
	ケニア	×	5	25	2	5	14	20
	コスタリカ	×	1	1				

	コロンビア	×	14	3,614	10	2,993	11	3,352
	サウジアラビア	×					1	1
	シンガポール	×			2	2	1	1
	スイス	○			1	1		
	スーダン	×			1	1		
	セルビア	○	1	40				
	タイ	×			1	2	4	87
	チリ	○	13	141,732	23	63,505	24	200,786
	ドイツ	○	3	5	1	1	2	3
	トルコ	○					1	1
	パキスタン	○	11	2,033	10	1,253	4	6
	ハワイ諸島	×	1	1				
	ハンガリー	○			1	1		
	フィリピン	×			1	1	1	1
	ブラジル	○			1	1		
	フランス	○	1	1	2	11	3	3
	ブルガリア	○	10	104	5	12	8	334
	ベトナム	×			1	1	1	1
	ベルギー	×					1	1
	ポーランド	×					1	1
	モロッコ	×	2	13	2	101	1	2
	レソト	×			1	1		
	ロシア	×					1	1
	英国	○	2	3				
	韓国	×	3	3	1	1		
	香港	×			3	8	1	1
	台湾	×	6	17	5	5	2	3
	中国	×	39	11,601	22	433	33	18,323
	南アフリカ	○			1	1		
	米国	○	3	4	4	4	13	18
Sambucus nigra(セイウニワトコ)	アルバニア	×	4	88	2	194	3	266
	ウクライナ	○	1	1	2	2		
	エクアドル	×	1	2				
	オーストラリア	○			1	1		
	クロアチア	×	1	100				
	コソボ	×	1	18			1	230
	スイス	○	1	1				
	セルビア	○					1	50
	フランス	○	1	1				
	ポーランド	×	1	1	4	2,312	3	104
	ルーマニア	○					1	102

	英国	○	1	6				
	米国	○			2	6		
Schinus molle(コショウ木)	アイルランド	○					1	1
	アラブ首長国連邦	×	1	1				
	エチオピア	×					1	5
	オーストラリア	○	1	1			1	3
	オーストリア	○	1	1				
	オランダ	×			1	3		
	ペルー	×					2	47
	フィンランド	×					1	1
	ブラジル	○	3	2,242	2	1,601	3	1,922
	フランス	○			1	1		
	ペルー	×	4	2,370	1	500	5	2,841
	マダガスカル	×	10	2,865	7	487	7	2,292
	レニオン	×					1	1
	米国	○					1	1
Schinus terebinthifolius(アカツキサンショウモトキ)	ハワイ諸島	×	1	1				
	ブラジル	○					1	1
	フランス	○	1	1				
	マダガスカル	×	5	3,007	1	1,100	4	3,700
	レニオン	×					1	1
Sorbus aucuparia(ヨーロッパナツメ)	ドイツ	○					1	3
	ポーランド	×	1	1				
Tilia cordata(コハナシナ)	ウクライナ	○	1	200	1	300		
	コソボ	×			1	50		
	セルビア	○	1	51				
	ブルガリア	○	1	800	3	12,000	1	1,800
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	×	1	50				
Viburnum opulus(ヨウシュカンボク粉・破碎)	米国	○					1	5
Viburnum(ガマズミ属 粉・破碎)	米国	○	1	9				
Viburnum(ガマズミ属)	ハワイ諸島	×	1	1				
	イタリア	○					1	1

Vitis vinifera(ヨーロッパブドウ)	スペイン	○	3	935	1	304	3	451
	ギリシャ	○			1	3		
	トルコ	○					1	1
	フランス	○	1	1				
	米国	○	1	560				
Vitis(ブドウ属 粘)	オーストラリア	○	3	62,540	2	34,980	1	24,900
	米国	○					2	20,958
Vitis(ブドウ属)	イタリア	○	1	3	3	11	9	16
	インド	○			1	23		
	ウズベキスタン	×	1	1			3	3
	スペイン	○			1	1	1	2
	タイ	×					1	1
	ハワイ諸島	×	1	1				
	フランス	○	1	1				
	ブルガリア	○			1	1		
	中国	×					2	80
	米国	○	1	8	2	689	1	1

引用文献

- BAPHIQ (2022) 中華民國輸入植物或植物產品檢疫規定, (online), available from
<<https://www.baphiq.gov.tw/new/ws.php?id=9665>>, (accessed 2022-09-28).
- Brenckle, J. F. (1917) North Dakota fungi – I. Mycologia 9: 275-293.
- CABI (2013) *Eutypa lata*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International.
(online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (accessed 2013-01-02).
- CABI (2021) *Eutypa lata*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International.
(online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (accessed 2022-09-28).
- Carter, M. V., A. Bolay and F. Rappaz (1983) An annotated host list and bibliography of *Eutypa armeniacae*. Review of Plant Pathology 62: 251-258.
- Carter, M. V. (1991) The Status of *Eutypa lata* as a Pathogen. Phytopathological Paper No. 32. CAB International, Wallinghold, UK.
- 中華人民共和國 (2022) 中華人民共和國進境植物檢疫性有害生物名錄(2021 年 4 月 9 日更新)
(online), available from
<<https://www.ippc.int/en/countries/china/reportingobligation/2012/12/moa-announcement-no862list-of-regulated-pest-of-china/>>, (accessed 2022-09-28).
- DAC & FW (2022) The Plant Quarantine Order (Regulation of Import into India). 2003, Department of Agriculture, Cooperation and Farmers Welfare, Government of India. (online), available from <<https://plantquarantineindia.nic.in/PQISPub/html/Import.htm>> (accessed 2022-09-28).
- Diekmann, M. and C. A. J. Putter (1996) Stone fruits. FAO/IPGRI Technical Guidelines for the Safe Movement of Germplasm. No. 16.
- EPPO (2014) PQR-EPPO database on quarantine pests. (online), available from
<<http://www.eppo.int>>, (accessed 2014-09).
- Farr, D. F. and A. Y. Rossman (2022) Fungal Databases, U. S. National Fungus Collections, ARS, USDA. (online), available from <<https://nt.ars-grin.gov/fungalDATABASES/>>, (accessed 2022-09-13).
- Grinbergs, D., J. Chilian and A. France (2021) First report of *Eutypa lata* causing cankers and dieback in sweet cherry in Chile. Plant Disease 105: 3307.
- Hilton, J. and D. Molloy (2012) *Eutypa* Dieback. GRAPE IPM GUIDE FOR MINNESOTA PRODUCERS: 15-16. (online), available from
<<https://core.ac.uk/download/pdf/76349626.pdf>>, (accessed 2022-09-12).
- Index Fungorum (2022) *Eutypa lata*. (online), available from
<<http://indexfungorum.org/Names/Names.asp>>, (accessed 2022-09-08).
- Lecomte, P. and D. J. Bailey (2011) Studies on the infestation by *Eutypa lata* of grapevine spring wounds. Vitis 50: 35-41. (online), available from
<https://www.researchgate.net/publication/265947378_Studies_on_the_infestation_by_Eutypa_lata_of_grapevine_spring_wounds>, (accessed 2022-09-12).
- Lecomte P., J-P. Peros, D. Blancard, N. Bastien, C. Delye (2000) PCR assays that identify the grapevine dieback fungus *Eutypa lata*. Appl Environ Microbiol. 66: 4475-4480.

- Lolas, M. A., A. Castro, R. Polanco, F. Gainza-Cortés, E. Ferrada, M. R. Sosnowski and G. A. Díaz (2020) First report of *Eutypa lata* causing dieback of grapevines (*Vitis vinifera*) in Chile. Plant Disease 104: 2024.
- Moyo, P., L. Mostert, R. Dedekind, W. J. van Jaarsveld, R. Pierron and F. Halleen (2018) First report of *Eutypa lata* causing branch dieback and cankers on cape willow in South Africa. Plant Disease 102: 2033.
- Munkvold G. P. (2001) Eutypa Dieback of Grapevine and Apricot. Plant Health Progress available from
<<http://www.plantmanagementnetwork.org/pub/php/diagnosticguide/dieback/>>,
(accessed 2022-09-08).
- NBN Gateway (2020) National Biodiversity Network, (online), available from
<<https://data.nbn.org.uk/Taxa/NHMSYS0001482039>>, (accessed 2022-09-08).
- Norden B and J. B. Jordal (2015) A checklist of Norwegian Sordariomycetes. Agarica: 55-73.
- 農林省 (1950) 植物防疫法施行規則 (昭和 25 年農林省令第 73 号) .
- 農林省 (1968) 隔離栽培運用基準 (昭和 43 年 5 月 20 日付け 43 農政 B 第 916 号農政局長通達) .
- Octave, S., P. Fleurat-Lessard and G. Roblin (2009) Diagnosis of *Eutypa lata* infection in grapevines by serological detection of secreted polypeptides. Journal of Plant Pathology 91: 321-330.
- PPIS Israel (2009) State of Israel Ministry and Agriculture and Rural Development. Plant Protection and Inspection Services Plant Protection Law-1956: Plant Import Regulations February 2009. (online), available from < <https://phytosanitarysolutions.com/wp-content/uploads/2016/03/Israel.PlantImportRegulations2009UnofficialTranslation.pdf>>, (accessed 2022-11-10).
- Rolshausen, P. E., L. C. Greve, J. M. Lavavitch, N. E. Mahoney, R. J. Molyneux and W. D. Gubler (2007) Pathogenesis of *Eutypa lata* in grapevine: Identification of virulence factors and biochemical characterization of cordon dieback. Phytopathology 98: 222-229.
- Rolshausen, P. E., F. Trouillas and W. D. Gubler (2004) Identification of *Eutypa lata* by PCR-RFLP. The American Phytopathological Society 88: 925-929.
- Rumbos, C. I. (1986) Isolation and identification of *Eutypa lata* from *Pistacia vera* in Greece. Journal of Phytopathology 116: 352-357. (online), available from
<<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1439-0434.1986.tb00931.x/abstract>>,
(accessed 2022-09-08).
- Schwappach, P. and M. Grimm (2006) First detection of *Eutypa lata* (Pers.:Fr.) Tul. with PCR directly out of grapevine trunks in Germany. IOBC wprs Bulletin 29: 103-108.
- Sosnowski, M. R., S. Q. Dinh and M. J. Sadow (2020) First report of *Eutypa lata* causing dieback and wood canker of pomegranate (*Punica granatum*) in Australia. Plant Disease 104: 568.
- Teviotdale, B. L, T. J. Michailides and J. MacDonald (2001) Diseases of Pistachio. APS. (online), available from
<<https://www.apsnet.org/edcenter/resources/commonnames/Pages/Pistachio.aspx>>,
(accessed 2022-09-06).

- Tosi, L and G. Natalini (2009) First report of *Eutypa lata* causing dieback of olive trees in Italy. Plant Pathology 58: 398.
- Trouillas, P., W. D. Gubler and E. A. Weber (2007) Cordon and trunk dieback of grapevine in California: importance of *Eutypa lata* and other diatrypaceous fungi, epidemiology and control. Proceedings of the 1st Annual National Viticulture Research Conference: 98-99.
- Trouillas, F. P. and W. D. Gubler (2010) Host range, biological variation, and phylogenetic diversity of *Eutypa lata* in California. Phytopathology 100: 1048-1056.
- UC IPM (2014) UC Pest Management Guidelines, Agriculture and Natural Resources. (online), available from <<http://www.ipm.ucdavis.edu/PMG/r302100611.html>>, (accessed 2022-09-08).